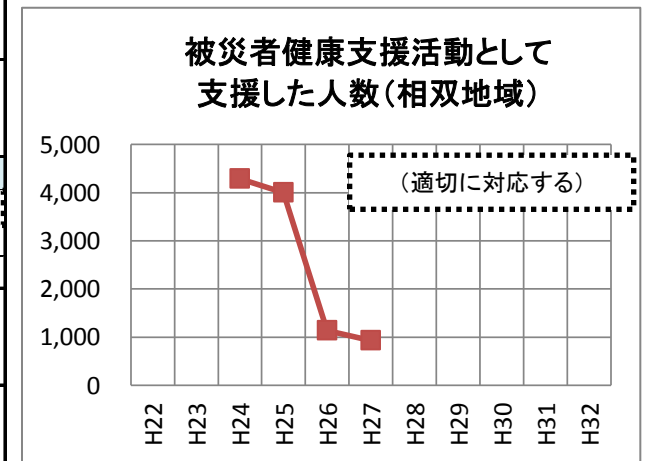


福島県相双地域保健医療福祉推進計画の指標の進行状況

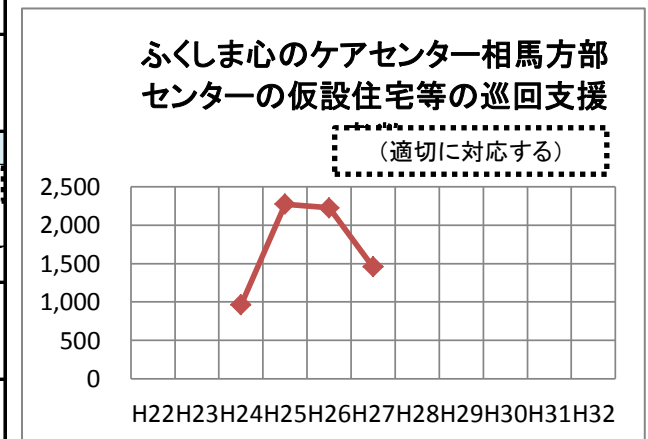
資料3

①基本目標	1 復興へ向けた保健・医療・福祉の推進
②施策の方向	(1) 被災者の心身の健康支援 (2) 医療提供体制の再構築 (3) 安心できる子育て環境の整備 (4) 福祉サービス提供体制の整備 (5) 飲料水及び食品等の安全性の確保 (6) 保健・医療・福祉の連携体制の構築 (7) いわき市へ避難した管内住民への健康支援

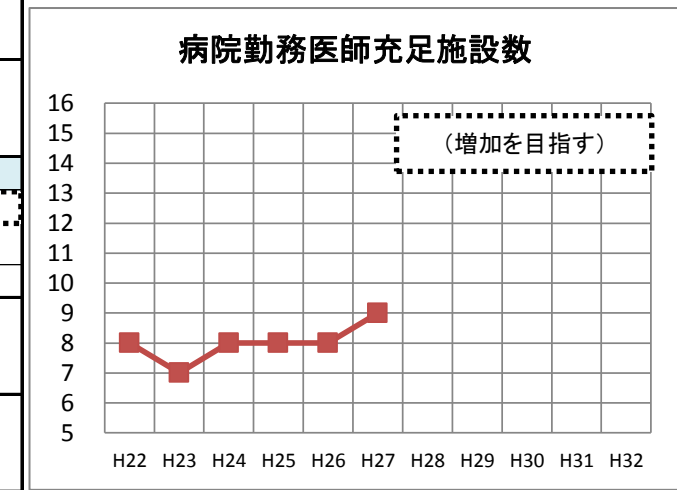
③指標No.、名称	1 被災者健康支援活動として支援した人数(相双地域)	達成状況	モニタリング									
④指標の説明	管内市町村から依頼を受け、当所(本所)が、相双地域で健康支援活動を実施した延人数(年度合計)－相双保健福祉事務所調べ											
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
目標	(適切に対応する)											
実績												
達成状況	4,290 4,003 1,140 935 人											
⑥達成状況の分析又は現状分析	避難町村の出張所設置により、避難町村で健康支援を実施できる体制が以前に比べ整ってきている。また、対象者をリスクの高い高齢者に設定するなど依頼市町村側で絞りこんでいるため、支援者数は減少している。											
⑦今後の課題	仮設住宅等から災害復興公営住宅に移行が進むことに伴い、同一の災害復興公営住宅入居者の健康支援において、市町村格差が生じる可能性がある。避難先の市町村も含め健康支援のあり方を関係機関で調整する必要がある。											



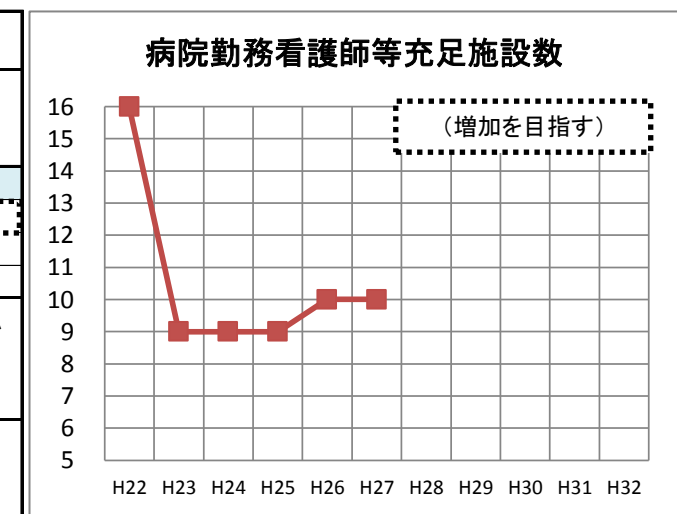
③指標No.、名称	2 ふくしま心のケアセンター相馬方部センターの仮設住宅等の巡回支援者数	達成状況	モニタリング									
④指標の説明	ふくしま心のケアセンター相馬方部センター(県から事業受託)が、管内で訪問相談、集団指導での相談、来所相談及び電話相談を実施した延人数(年度合計)－福島県障がい福祉課調べ											
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
目標	(適切に対応する)											
実績	962 2,275 2,226 1,458 人											
⑥達成状況の分析又は現状分析	平成27年度に組織改編を行い、南相馬駐在を廃止し、ケースの一部を南相馬市に移管したこと等により支援者数が減少した。											
⑦今後の課題	引き続き、要支援者に対して適切に対応していく。											



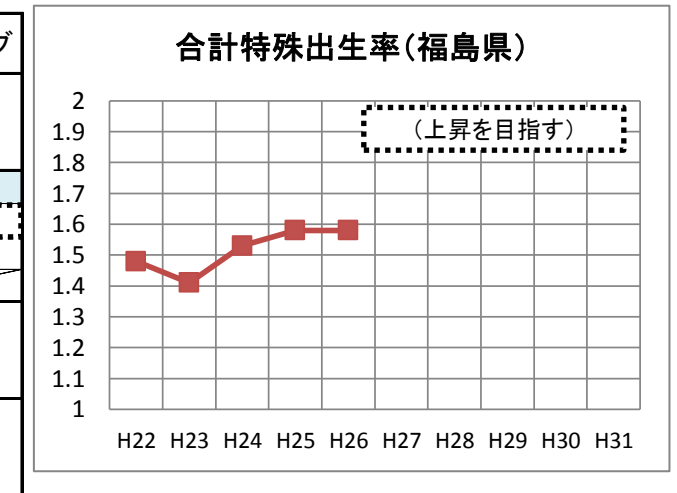
③指標No.、名称	3 病院勤務医師充足施設数							達成状況	A			
④指標の説明	管内の病院を母数として、医療法で定める必要数を満たす病院数(当該年度立入検査実施時点)											
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	/			(増加を目指す)								
実績	8	7	8	8	8	9	か所					
達成状況	/			B	B	A						
⑥達成状況の分析又は現状分析	現在稼働中の病院は10か所(震災前は16か所)。原子力発電所の事故の影響により勤務医師の確保が困難となっている。											
⑦今後の課題	引き続き、医師確保対策に取り組む必要がある。											



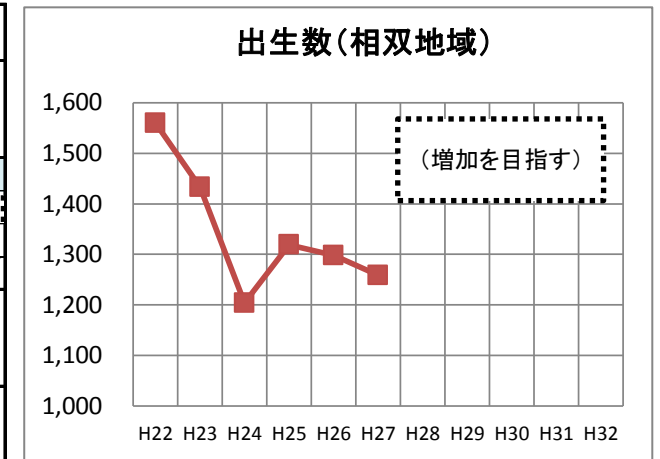
③指標No.、名称	4 病院勤務看護師等充足施設数							達成状況	B			
④指標の説明	管内の病院を母数として、医療法に定める必要数を満たす病院数(当該年度立入検査実施時点)											
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	/			(増加を目指す)								
実績	16	9	9	9	10	10	か所					
達成状況	/			B	B	B						
⑥達成状況の分析又は現状分析	医療法に定める必要数を満たしているものの、多くの病院が稼働病床数を制限している状況にあり、引き続き確保に努める必要がある。 ※現在稼働している病院は10か所であり、現状の最大値となっている。											
⑦今後の課題	稼働病床数の制限を余儀なくされていることから、引き続き、看護師等の確保対策に取り組む必要がある。											



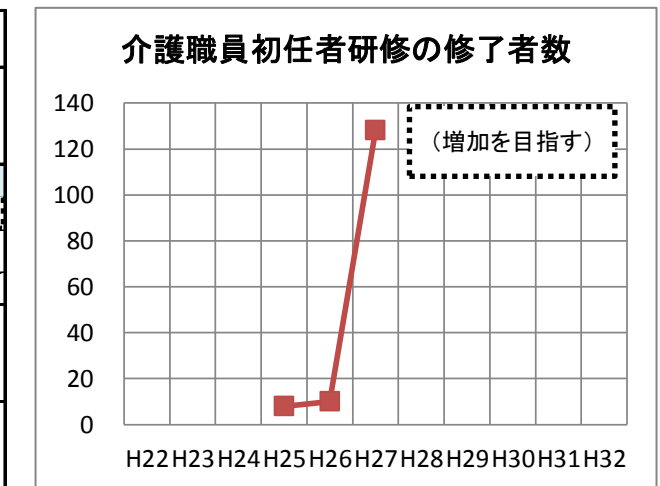
③指標No.、名称	5 合計特殊出生率(福島県)							達成状況	モニタリング			
④指標の説明	15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとした時の平均子ども数に相当する。一人口動態統計月報年計の概況(福島県)											
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	/			(上昇を目指す)								
実績	1.51	1.48	1.41	1.53	1.58	1.58						
達成状況	/											
⑥達成状況の分析又は現状分析	H27は、前年と同数であったが、増加傾向にある。											
⑦今後の課題	引き続き、子育てに伴う負担と不安を軽減するため、社会全体で子育てを支援する体制づくりを推進していく。											



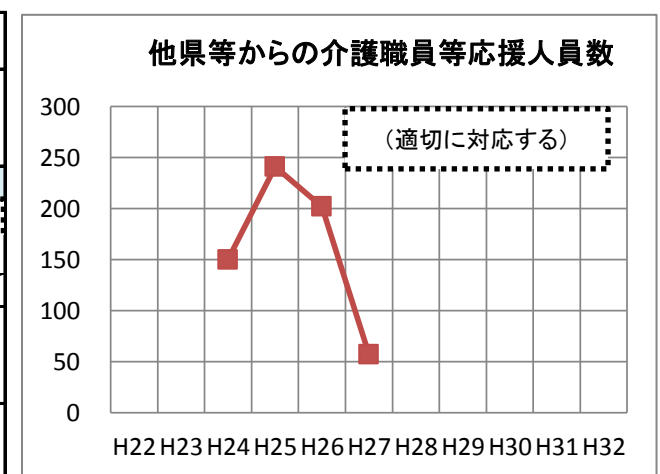
③指標No.、名称	【参考】 出生数(相双地域)							達成状況	参考		
④指標の説明	管内の市町村に届け出られた「生まれた子どもの数」(年合計)－人口動態統計(確定数)の概況(福島県)										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
				(増加を目指す)							
実績	1,560	1,433	1,204	1,319	1,298	1,259	人				
達成状況											
⑥達成状況の分析又は現状分析	出産可能な年齢層の女性の人数が減少傾向にあり、これに伴い、出生数も減少していると考えられる。										
⑦今後の課題	子育てに伴う負担と不安を軽減するため、社会全体で子育てを支援する体制づくりを推進する必要がある。										



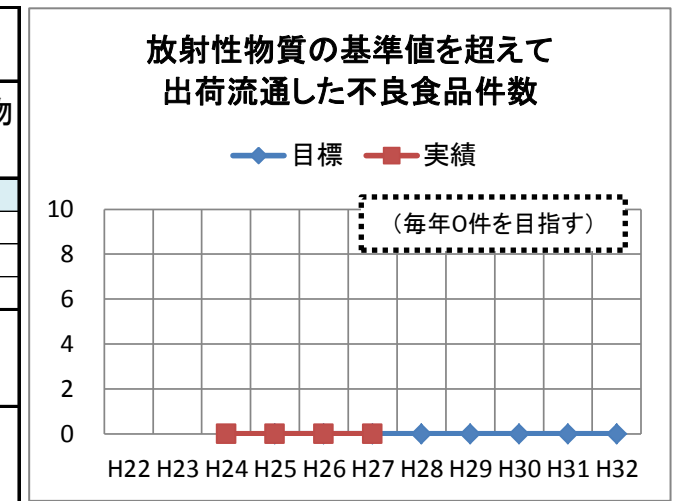
③指標No.、名称	6 介護職員初任者研修の修了者数							達成状況	モニタリング		
④指標の説明	管内の介護・福祉事業所から県に提出された介護職員初任者研修事業による研修修了者の数(年度合計)－福島県高齢福祉課調べ										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
				(増加を目指す)							
実績				8	10	128	人				
達成状況											
⑥達成状況の分析又は現状分析	平成24年度まではホームヘルパー2級養成研修終了者数であったが、平成25年度から制度改正となり、「介護職員初任者研修」として実施している。制度変更により、受講者数が増加した。										
⑦今後の課題	適切に研修を行い、管内への定着化を図る。										



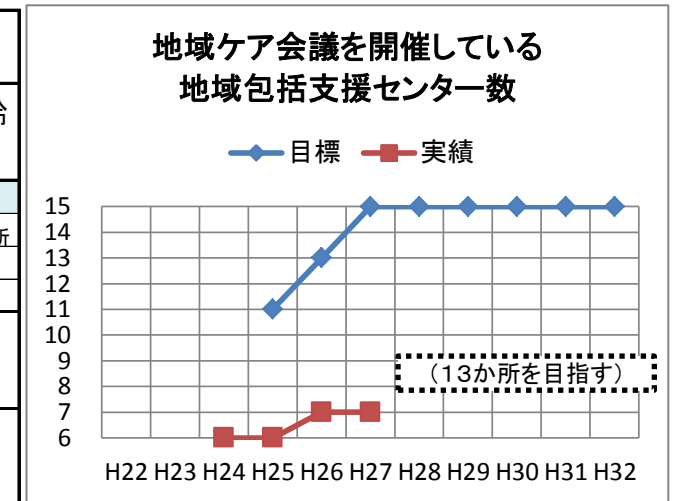
③指標No.、名称	7 他県等からの介護職員等応援人員数							達成状況	モニタリング		
④指標の説明	県外から管内の介護事業所に応援に来た介護職員の延人数(年度合計)－福島県相双地域等福祉人材確保対策会議										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
				(適切に対応する)							
実績			150	241	202	57	人				
達成状況											
⑥達成状況の分析又は現状分析	26年度は受け入れ希望6施設で、27年度は2施設。32道府県からの応援を受け入れた。										
⑦今後の課題											



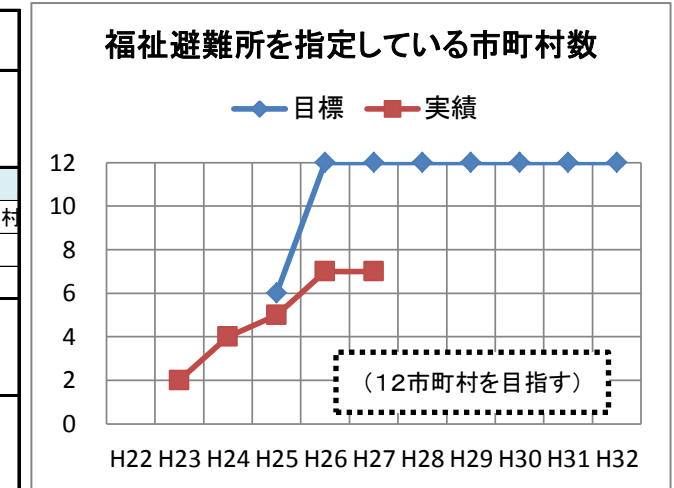
③指標No.、名称	8 放射性物質の基準値を超えて出荷流通した不良食品件数										達成状況	A	
④指標の説明	管内で生産された農林水産物を原料とする加工食品及び管内で加工された広域流通食品等で、食品衛生法に基づく放射性物質の基準値を超えて出荷流通した違反食品の数(年度合計)－相双保健福祉事務所調べ												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	/			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 件
	/			0	0	0	0	0	0	0	0		件
⑥達成状況の分析又は現状分析	食品中の放射性物質が、食品衛生法上の基準値を超過して出荷、流通販売された不良食品は、発生していない。												
⑦今後の課題	引き続き、不良食品の発生の防止に努める。												



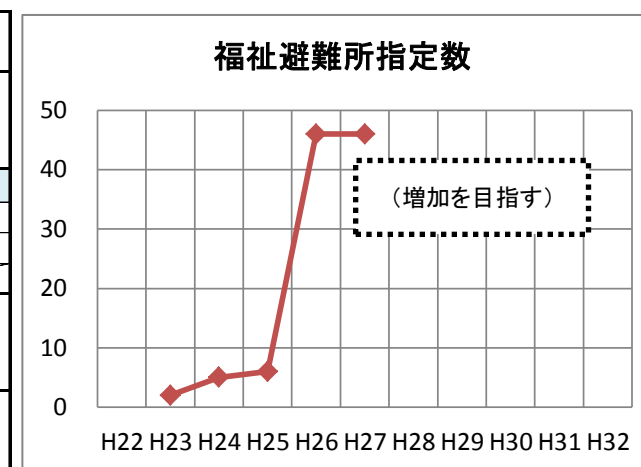
③指標No.、名称	9 地域ケア会議を開催している地域包括支援センター数										達成状況	B	
④指標の説明	管内の市町村が設置する地域包括ケアセンターの内、地域ケア会議を開催しているセンターの数(年度末時点)－福島県高齢福祉課調べ												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	/			11	13	15	15	15	15	15	15	15	か所
	/			6	6	7	7	7	7	7	7		か所
⑥達成状況の分析又は現状分析	原発事故による避難町村では、住民が分散しており開催が困難な状況となっている。												
⑦今後の課題	地域包括ケアシステムの実現のための有効な手法であり、各センターに働きかける必要がある。												



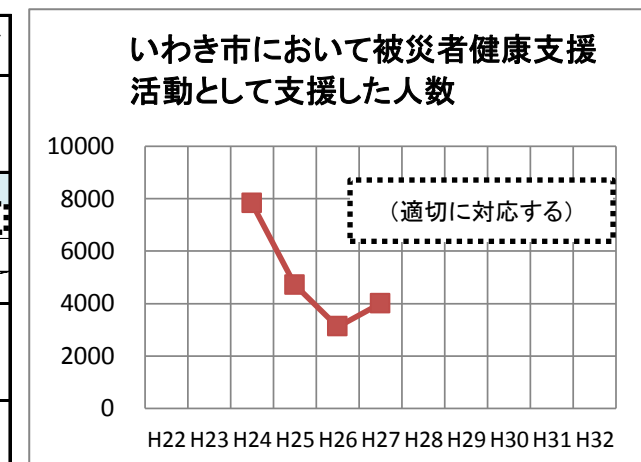
③指標No.、名称	10 福祉避難所を指定している市町村数										達成状況	B	
④指標の説明	管内市町村のうち、福祉避難所を指定している市町村数(年度末時点)－福島県保健福祉総務課調べ												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	/			6	12	12	12	12	12	12	12	12	市町村
	/			5	7	7	7	7	7	7	7		市町村
⑥達成状況の分析又は現状分析	避難中の5町村が未指定の状況にあったが、平成28年6月、葛尾村が指定したため、現在、4町が未指定。												
⑦今後の課題	未指定市町村の意向に応じて、引き続き、情報提供等指定に向けた支援を行っていく。												



③指標No.、名称	【参考】 福祉避難所指定数										達成状況	参考
④指標の説明	管内市町村が指定した福祉避難所の数(年度末時点)－福島県保健福祉総務課調べ											
⑤指標の推移 目標 実績 達成状況	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
				6	46	46	か所					
⑥達成状況の分析又は現状分析	27年度末現在、46施設であったが、その後、葛尾村の1施設及び相馬市の1施設が指定され、平成28年9月末現在では、48施設となっている。											
⑦今後の課題	未指定市町村の意向に応じて、引き続き、情報提供等指定に向けた支援を行っていく。											

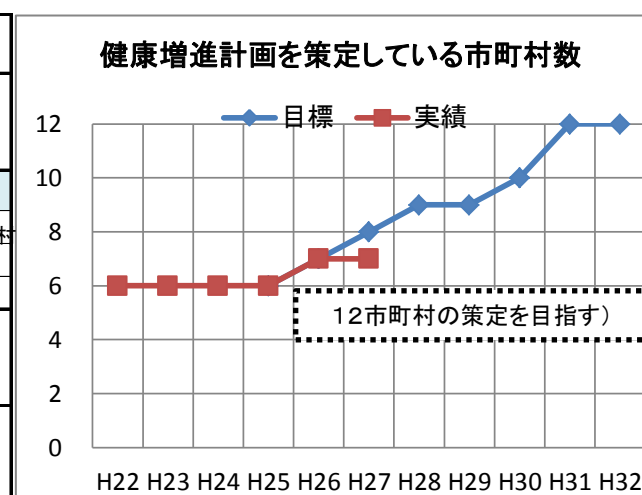


③指標No.、名称	11 いわき市において被災者健康支援活動として支援した人数										達成状況	モニタリング
④指標の説明	管内市町村から依頼を受け、いわき出張所が、いわき地域で健康支援活動を実施した延人数(年度合計)－相双保健福祉事務所(いわき出張所)調べ											
⑤指標の推移 目標 実績 達成状況	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
			7,821	4,710	3,120	4,004	人					
⑥達成状況の分析又は現状分析	避難町村の出張所設置により、避難町村で健康支援を実施できる体制が以前に比べ整ってきている。また、対象者をリスクの高い高齢者に設定するなど依頼市町村側で絞りこんでいるため、支援者数は減少している。											
⑦今後の課題	仮設住宅等から災害復興公営住宅に移行が進むことに伴い、同一の災害復興公営住宅入居者の健康支援において、市町村格差が生じる可能性がある。避難先の市町村も含め健康支援のあり方を関係機関で調整する必要がある。											

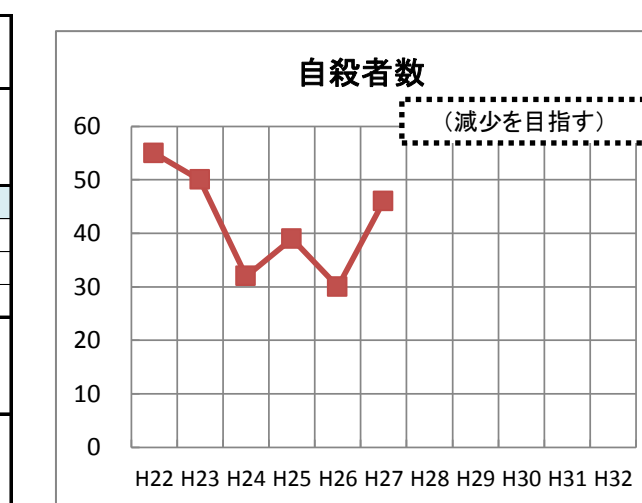


①基本目標	2 生涯にわたる健康づくりの推進
②施策	(1) 被災者の心身の健康支援(再掲) (2) 心身の健康を維持、増進するための環境づくりの推進 (3) 生活習慣病を予防するための環境づくりの推進 (4) がん予防・医療の推進 (5) 高齢者の介護予防の推進 (6) 健全な食生活を育むための食育の推進 (7) 感染症対策の推進 (8) 歯科口腔保健の推進

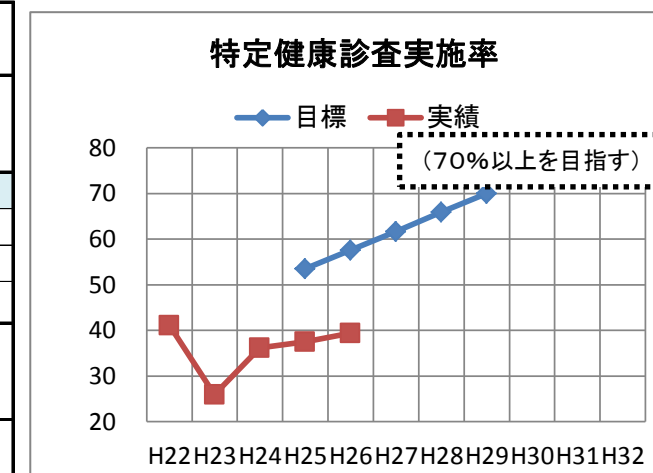
③指標No.、名称	1 健康増進計画を策定している市町村数	達成状況	B								
④指標の説明	管内市町村のうち、健康増進計画を策定している市町村数(年度末時点)－福島県健康増進課調べ										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標				6	7	8	9	9	10	12	12
実績	6	6	6	6	7	7	市町村				
達成状況				A	A	B					
⑥達成状況の分析又は現状分析	未策定5町村のうち、4町が避難中であり、住民が広域避難している中での計画策定が困難な状況にある。その中でも計画策定に向け2町村が準備に入っている。										
⑦今後の課題	策定に向けた支援を進め、未策定町村を減らしていく。										



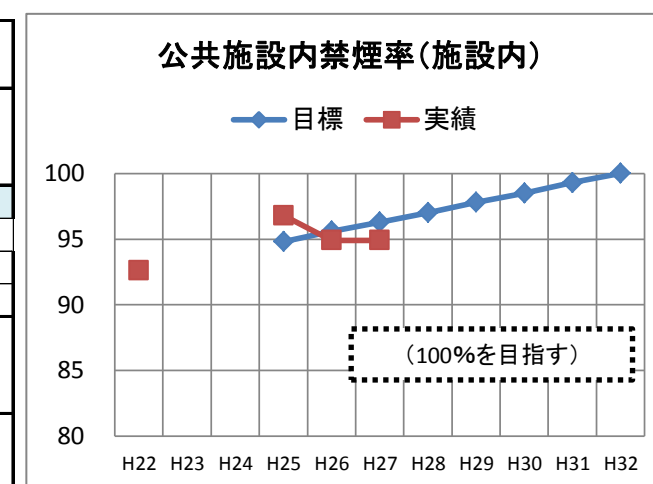
③指標No.、名称	2 自殺者数	達成状況	B								
④指標の説明	管内市町村に住所地がある死亡者のうち、死因が自殺である者の数(年合計)－人口動態統計										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標				(減少を目指す)							
実績	55	50	32	39	30	46	人				
達成状況				B	A	B					
⑥達成状況の分析又は現状分析	自殺者数の増加について、長期化する避難生活や地域の支援資源が少ないことが影響していることが推察される。										
⑦今後の課題	引き続き、各種自殺対策事業を実施していく。										



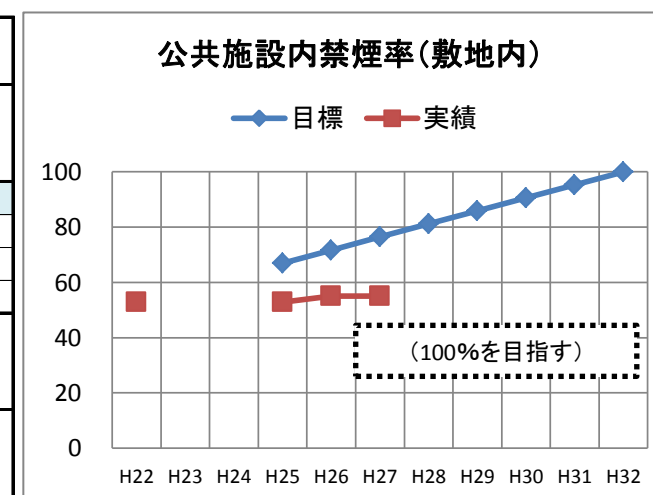
③指標No.、名称	3 特定健康診査実施率										達成状況	B	
④指標の説明	管内に住所があり市町村国保に加入する40歳から74歳までの特定健康診査対象者を母数として、保険者(市町村)が特定健康診査を実施した比率(年度末現在)－福島県生活習慣病検診等管理指導協議会												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	/			53.5	57.6	61.7	65.9	70.0	%以上				
	41.1	25.9	36.2	37.5	39.4	%							
達成状況	/			B	B								
⑥達成状況の分析又は現状分析	受診率は微増である。しかし全県的に40～50歳代の受診率が低く、相双地域は、特に広域避難した住民に対する避難町村の健診体制が整わないことも受診率の伸びに影響していると推察される。												
⑦今後の課題	40～50歳代の健診受診者数を増加させ、避難者も含めた健診体制のさらなる整備が必要とされる。												



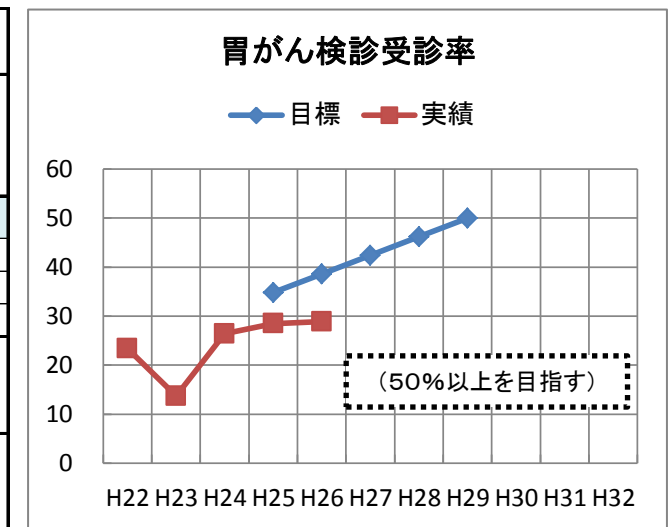
③指標No.、名称	4-1 公共施設内禁煙率(施設内)										達成状況	B		
④指標の説明	管内の公共施設の内、施設内禁煙としている施設の比率(5月1日時点)－福島県健康増進課調べ													
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
	/			94.8	95.6	96.3	97.0	97.8	98.5	99.3	100.0	%		
	92.6	/	/	96.8	94.9	94.9	%							
達成状況	/			A	B	B								
⑥達成状況の分析又は現状分析	※H23,H24は震災により調査未実施。実施施設数の大きな変動はなかった。													
⑦今後の課題	引き続き、施設内禁煙を推進する必要がある。													



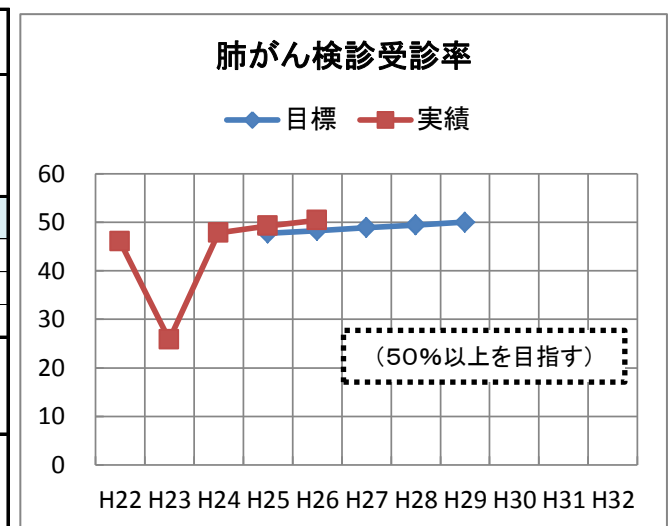
③指標No.、名称	4-2 公共施設内禁煙率(敷地内)										達成状況	B		
④指標の説明	管内の公共施設の内、敷地内禁煙としている施設の比率(5月1日時点)－福島県健康増進課調べ													
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
	/			67.0	71.7	76.5	81.2	85.9	90.6	95.3	100	%		
	52.9	/	/	52.9	55.1	55.1	%							
達成状況	/			B	B	B								
⑥達成状況の分析又は現状分析	※H23,H24は震災により調査未実施。県施設や市町村役場で敷地内禁煙の実施が少ないことが全体の実施率に影響している。													
⑦今後の課題	官公庁の敷地内禁煙の推進を図る必要がある。													



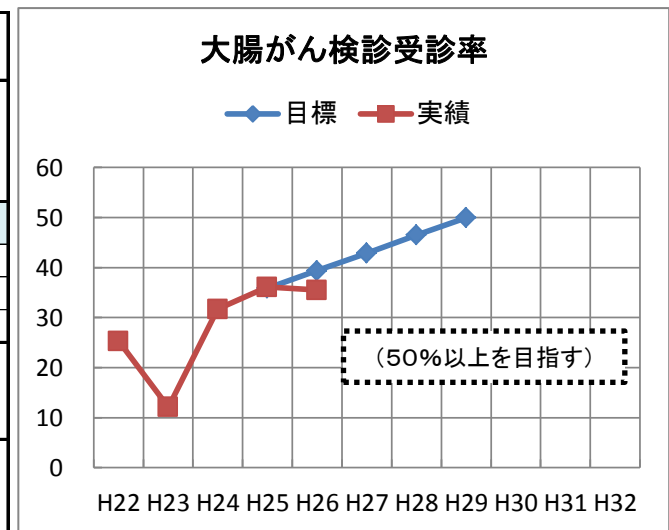
③指標No.、名称	5-1 胃がん検診受診率										達成状況	B	
④指標の説明	直近の国勢調査結果を基にした市町村毎の推計対象者数を母数として、管内市町村が実施する「がん検診」を受診した者(40~69歳を対象とした)の比率(年度末時点)ー福島県健康増進課調べ ※推計対象者数=市町村人口-(就業者数-農林水産業従事者数)												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	/			34.8	38.6	42.4	46.2	50.0	%以上				
	/			28.5	28.9	%							
⑥達成状況の分析又は現状分析	震災による広域避難の影響により、目標を下回っている。												
⑦今後の課題	さらなる受診機会の拡大措置を図る必要がある。												



③指標No.、名称	5-2 肺がん検診受診率										達成状況	A	
④指標の説明	直近の国勢調査結果を基にした市町村毎の推計対象者数を母数として、管内市町村が実施する「がん検診」を受診した者(40~69歳を対象とした)の比率(年度末時点)ー福島県健康増進課調べ ※推計対象者数=市町村人口-(就業者数-農林水産業従事者数)												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	/			47.7	48.3	48.9	49.4	50.0	%以上				
	/			49.2	50.4	%							
⑥達成状況の分析又は現状分析	受診率は年々増加し、2年連続で目標を達成している。肺がん検診が浸透してきていると推察される。												
⑦今後の課題	受診率の低下を来さないよう受診機会の確保を図る必要がある。												

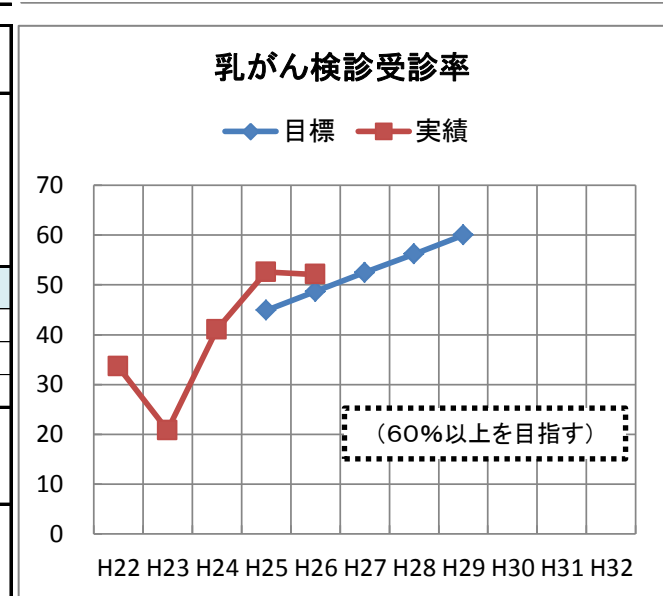


③指標No.、名称	5-3 大腸がん検診受診率										達成状況	B	
④指標の説明	直近の国勢調査結果を基にした市町村毎の推計対象者数を母数として、管内市町村が実施する「がん検診」を受診した者(40~69歳を対象とした)の比率(年度末時点)ー福島県健康増進課調べ ※推計対象者数=市町村人口-(就業者数-農林水産業従事者数)												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	/			35.9	39.4	42.9	46.5	50.0	%以上				
	/			36.1	35.5	%							
⑥達成状況の分析又は現状分析	受診率は25年度に比較し0.6ポイント減少し、目標に達成していない。受診率が伸びない理由としては、震災による広域避難の影響と大腸がん検診の必要性が浸透していないことも影響していると推察される。												
⑦今後の課題	大腸がん検診の受診拡大に向けた取組を推進していく。												

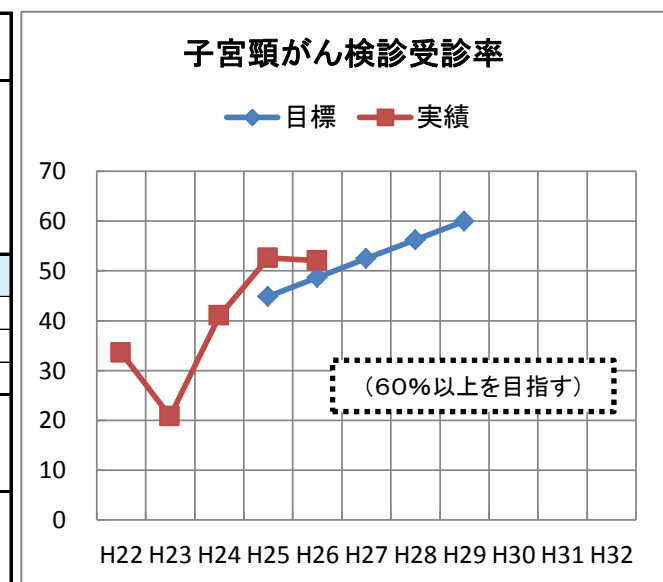




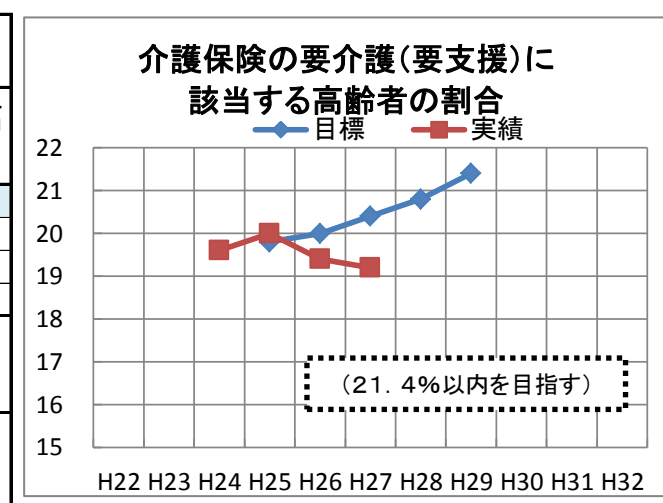
③指標No.、名称	5-4 乳がん検診受診率										達成状況	A	
④指標の説明	直近の国勢調査結果を基にした市町村毎の推計対象者数を母数として、管内市町村が実施する「がん検診」を受診した者(40～69歳を対象とした)の比率(年度末時点)－福島県健康増進課調べ ※推計対象者数＝市町村人口－(就業者数－農林水産業従事者数) ※受診率＝(当該年度受診者数＋前年度受診者数－2年連続受診者数)÷推計対象者数												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	目標			44.9	48.7	52.5	56.2	60.0	%以上				
	実績			52.6	52.1	%							
⑥達成状況の分析又は現状分析	受診率は25年度に比し0.5ポイント減少しているが、2年連続で目標を達成している。												
⑦今後の課題	受診率の低下を来さないよう受診機会の確保を図る必要がある。												



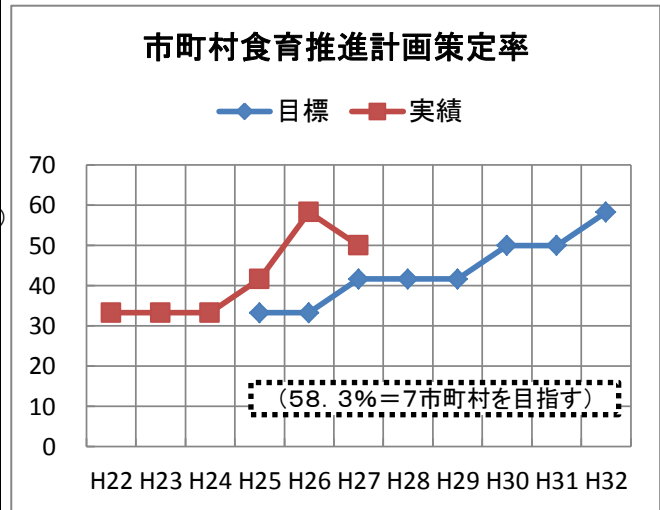
③指標No.、名称	5-5 子宮頸がん検診受診率										達成状況	A	
④指標の説明	直近の国勢調査結果を基にした市町村毎の推計対象者数を母数として、管内市町村が実施する「がん検診」を受診した者(20～69歳を対象とした)の比率(年度末時点)－福島県健康増進課調べ ※推計対象者数＝市町村人口－(就業者数－農林水産業従事者数) ※受診率＝(当該年度受診者数＋前年度受診者数－2年連続受診者数)÷推計対象者数												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	目標			48.3	51.2	54.1	57.1	60.0	%以上				
	実績			53.4	55.3	%							
⑥達成状況の分析又は現状分析	受診率は年々増加し、2年連続で目標を達成している。子宮がん検診が浸透してきていると推察される。												
⑦今後の課題	受診率の低下を来さないよう受診機会の確保を図る必要がある。												



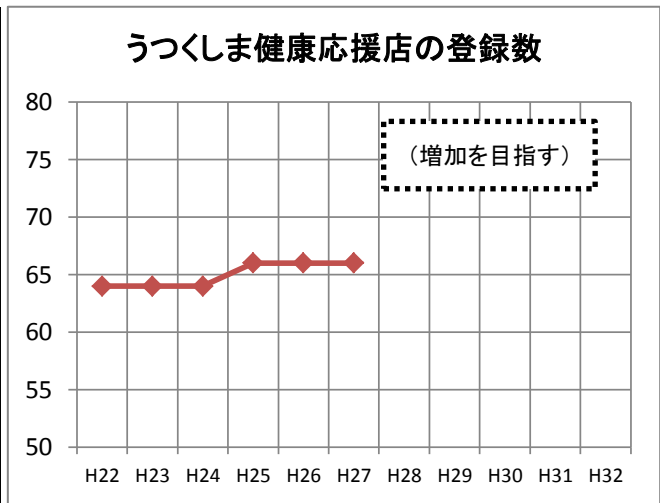
③指標No.、名称	6 介護保険の要介護(要支援)に該当する高齢者の割合										達成状況	A	
④指標の説明	管内に住所のある者を母数とした介護保険第一号被保険者の要介護(要支援)認定者の比率(年度末時点)－第七次福島県高齢者福祉計画・第六次福島県介護保険事業支援計画												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	目標			19.8	20.0	20.4	20.8	21.4	%以内				
	実績			20.0	19.4	19.2	%						
⑥達成状況の分析又は現状分析	減少傾向にある。												
⑦今後の課題	引き続き、介護予防事業等を効果的に実施し、数値の低下に取り組む必要がある。												



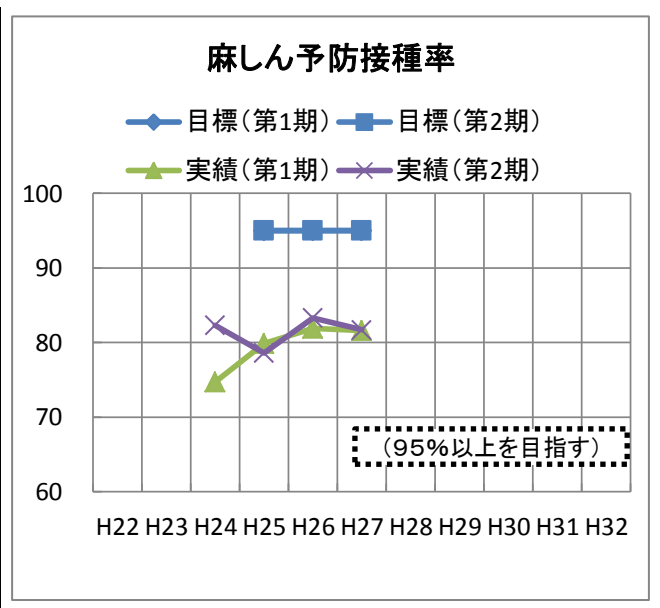
③指標No.、名称	7 市町村食育推進計画策定率										達成状況	A	
④指標の説明	管内市町村のうち、食育推進計画を策定している市町村の比率(年度末時点)－平成24年度末市町村食育推進計画作成状況調べ												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	/			33.3	33.3	41.7	41.7	41.7	50.0	50.0	58.3%(7市町村)		
	/			33.3	33.3	41.7	58.3	50.0	% (6市町村)				
⑥達成状況の分析又は現状分析	平成26年は7市町村策定されていたが、計画期間の期限切れにより策定している市町村は6市町村に減った。常勤の栄養士が未配置の町村で策定されていない傾向がある。												
⑦今後の課題	策定予定の市町村(計画期間の期限切れ)があるため助言等の支援を要する。未策定の町村へは策定の必要性について理解を得られるよう働きかける。												



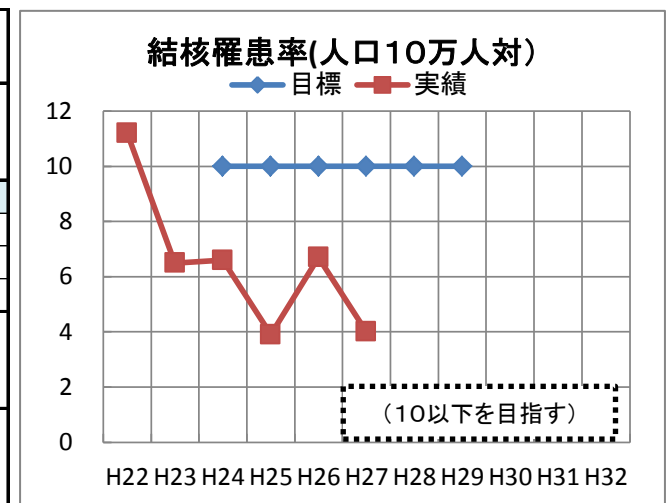
③指標No.、名称	8 うつくしま健康応援店の登録数										達成状況	B		
④指標の説明	管内の「うつくしま健康応援店」の登録数(年度末時点)－福島県健康増進課調べ													
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
	/			66	66	66	(増加を目指す)							
	/			64	64	64	店							
⑥達成状況の分析又は現状分析	新規登録店舗の拡大には至らなかったが、登録済み店舗へのアフターフォローを重点的に実施し、登録店舗数を維持している。													
⑦今後の課題	管内の復興も徐々に進み新たな飲食店も出来ていることから新規登録店を増加できるようPRしていく。また応援店の活動を充実させるため引き続き登録店舗のアフターフォローを実施していく必要がある。													



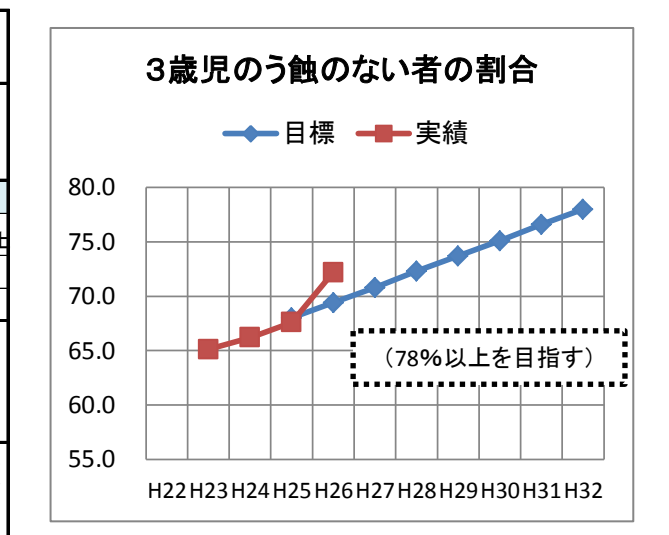
③指標No.、名称	9 麻しん予防接種率										達成状況	B		
④指標の説明	予防接種法に基づく対象年齢層における管内に住所のある者の予防接種率－厚生労働省麻しんワクチン予防接種実態調査													
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
	/			95.0	95.0	95.0	%以上							
	/			95.0	95.0	95.0	%以上							
	/			74.7	79.9	81.9	81.6	%						
	/			82.3	78.6	83.3	81.7	%						
	/			B	B	B								
⑥達成状況の分析又は現状分析	各市町村では多くの住民が県外へ避難しており、避難先での接種状況を把握することができた実績値である。													
⑦今後の課題	本庁・避難先市町村との連携により、避難者の接種状況を把握するとともに、予防接種の受けやすい環境づくりを市町村に対し積極的に働きかける。													



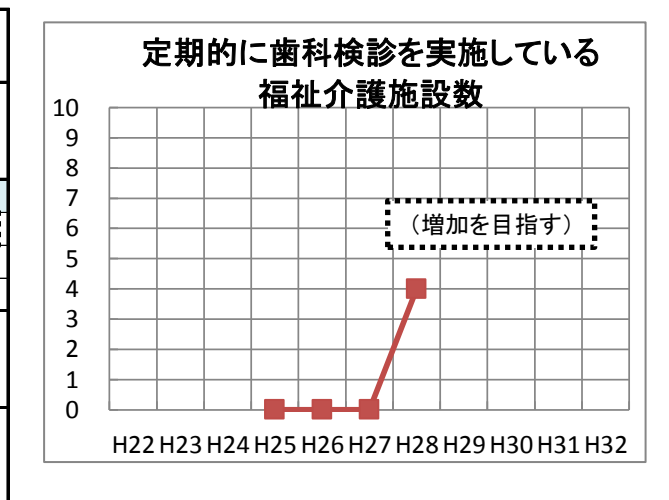
③指標No.、名称	10 結核罹患率(人口10万人対)										達成状況	A		
④指標の説明	1月1日から12月31日の1年間に新たに発生した患者の人口(管内に住所のある10月1日現在人口)10万人に対する比率—福島県結核予防計画													
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
	/		10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	10.0	以下				
	11.2	6.5	6.6	3.9	6.7	4.0								
⑥達成状況の分析又は現状分析	罹患率は、目標値及び県の罹患率より低い数値で推移している。													
⑦今後の課題	復興作業員からの結核発生が増加している。今後、労働基準監督署及び事業所との連携により、結核の予防、早期発見・早期治療等の対策を行っていく。													



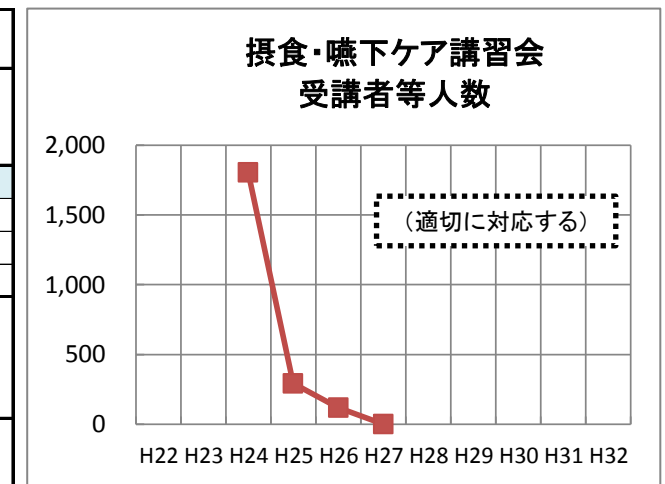
③指標No.、名称	11 3歳児のう蝕のない者の割合										達成状況	A		
④指標の説明	管内に住所のある3歳児を母数としたう蝕のない者の比率(年度末時点)—母子保健事業実績													
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
	/		65.1	66.2	68.0	69.4	70.8	72.3	73.7	75.1	76.6	78.0%以上		
	/				67.6	72.2	%						B	A
⑥達成状況の分析又は現状分析	平成25年度から乳児う蝕対策事業により、乳幼児健診を実施する市町村や歯科従事者等を対象としたう蝕予防の研修会の開催や、歯科指導の標準化を目的に指導媒体を作成し市町村に配布するなど、乳歯う蝕予防に関わる質の底上げに取り組んだ結果、改善につながった。													
⑦今後の課題	引き続き乳幼児健診の実施主体である市町村からの求めに応じ、乳幼児のう蝕予防につながる歯科指導の取組ができるよう支援を行う。													



③指標No.、名称	12 定期的に歯科検診を実施している福祉介護施設数										達成状況	—		
④指標の説明	管内で定期的に歯科検診を実施している福祉介護施設の数(調査日時点)※管外に避難中の施設は除く。—相双保健福祉事務所調べ													
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
	/				調査未実施	0	調査未実施	4	か所					
	/													
⑥達成状況の分析又は現状分析	H27は調査未実施。H28. 6月現在、4施設が実施している。													
⑦今後の課題	H28年度に現状調査を実施。26年度調査結果より、不定期に歯科検診を実施している施設があるため、定期的歯科検診の実施施設数の増加に向けて関係機関に働きかけを行う。													

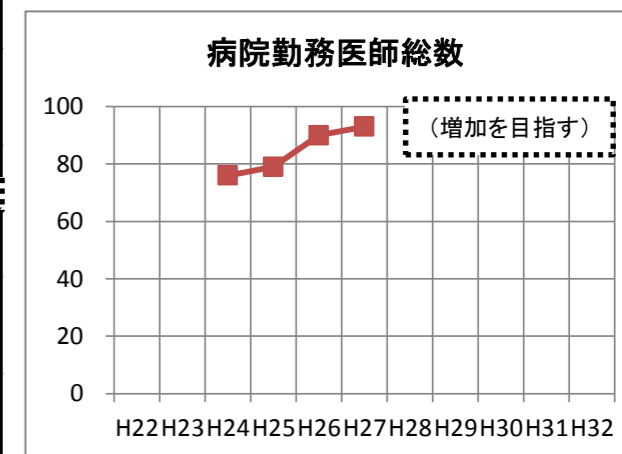


③指標No.、名称	13 摂食・嚥下ケア講習会受講者等人数	達成状況	—								
④指標の説明	当所が実施する摂食・嚥下ケア講習会の受講者数(年度合計)－相双保健福祉事務所調べ										
⑤指標の推移 目標 実績 達成状況	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
			1,806	291	117	0					
							(適切に対応する)				
⑥達成状況の分析 又は現状分析	摂食・嚥下ケア講習会をH24年度から3ヶ年実施し、延べ2,200名を超える受講者となった。 高齢者施設等では職員の入れ替わりも多いことから、27年度からは、新入職員向けの基礎的な口腔ケアの技術支援を中心に実施している。										
⑦今後の課題	高齢者施設等における摂食嚥下ケアに関する実情をモニタリングしつつ、必要に応じて摂食・嚥下ケア講習会の再開を検討する。										

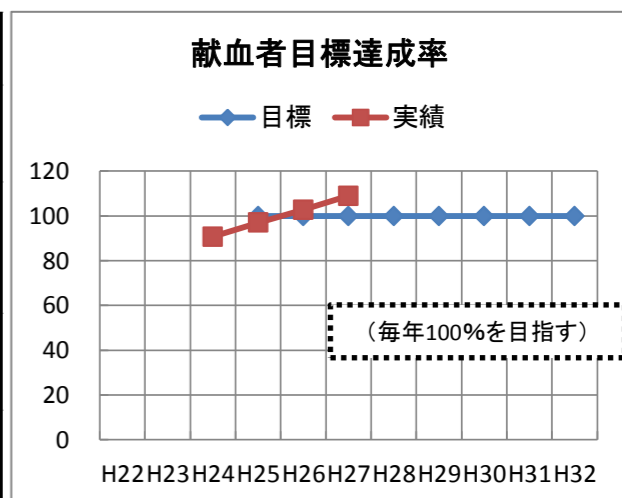


①基本目標	3 地域医療の再生
②施策	(1) 医療提供体制の再構築(再掲) (2) 医師、看護師等の確保と資質の向上 (3) 安全、安心な医療サービスの確保 (4) 血液の確保と医薬品の有効性・安全性の確保 (5) 難病対策の推進

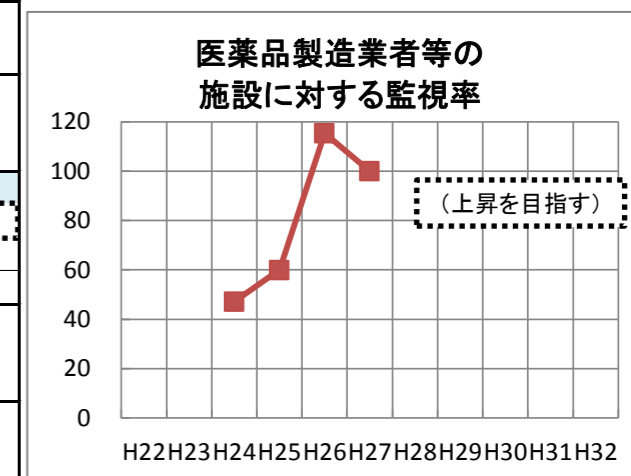
③指標No.、名称	1 病院勤務医師総数	達成状況	A									
④指標の説明	管内の稼働している病院に勤務する常勤医師の数(当該年度の翌4月1日時点)－相双保健福祉事務所調べ											
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	/			(増加を目指す)								
	実績			76	79	90	93	人				
達成状況	/			A	A	A						
⑥達成状況の分析又は現状分析	増加傾向であるが、小児科、産婦人科等の医師が不足している。											
⑦今後の課題	引き続き、必要な医療が提供されるよう医師確保に努める。											



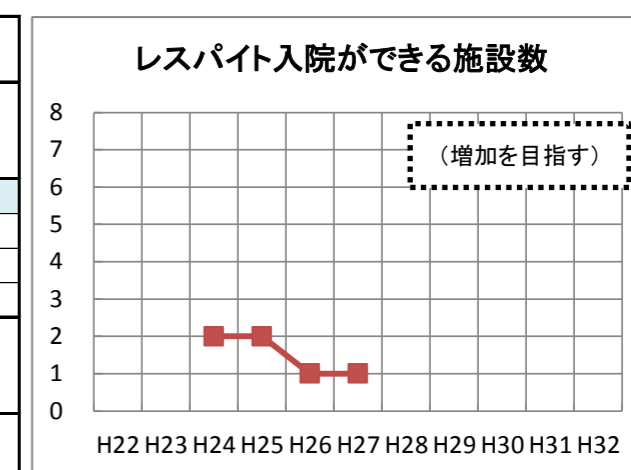
③指標No.、名称	2 献血者目標達成率	達成状況	A								
④指標の説明	毎年度設定する相馬地区の献血目標値に対する献血達成率(年度末時点)※双葉地区は目標値が定められていない。－福島県薬務課調べ										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	/			100	100	100	100	100	100	100	100%
	実績			90.7	97.0	102.8	109.0	%			
達成状況	/			B	A	A					
⑥達成状況の分析又は現状分析	献血量の目標931.6Lに対し、1,036.4L。献血者の目安人数2,433人に対し、2,653人。										
⑦今後の課題	10代、20代の若年層へも献血の重要性について普及啓発を図る。										



③指標No.、名称	3 医薬品製造業者等の施設に対する監視率						達成状況	A			
④指標の説明	管内の医薬品製造業者等の施設に対して、当所が薬事監視を実施した比率(年度末時点)－福島県薬務課調べ										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
				(上昇を目指す)							
				47.1	60.0	115.3	100.0	%			
⑥達成状況の分析又は現状分析	対象施設10カ所に対し、10カ所を実施。										
⑦今後の課題	医薬品製造業者等の施設に対する監視を強化し、適正な県民医療の確保に努める。										

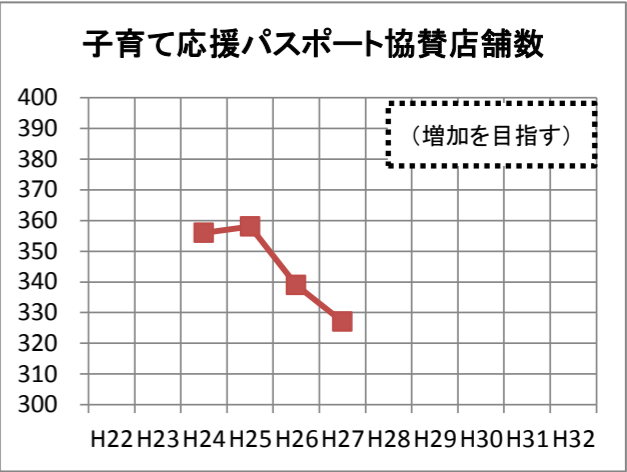


③指標No.、名称	4 レスパイト入院ができる施設数(介護者の病気・疲労等に伴う入院)						達成状況	B			
④指標の説明	管内の医療機関の内、難病患者のレスパイト入院ができる施設の数(調査日時点)－福島県健康増進課調べ										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
				(増加を目指す)							
				2	2	1	1	か所			
⑥達成状況の分析又は現状分析	双葉地域の医療機関の多くが休止中であり、また、病床の空きがない等、医療機関の受入体制が整っていない。										
⑦今後の課題	切れ目のない介護サービスを提供するため、市町村や関係機関と連携しながら、入院体制の充実についての支援を行う必要がある。										

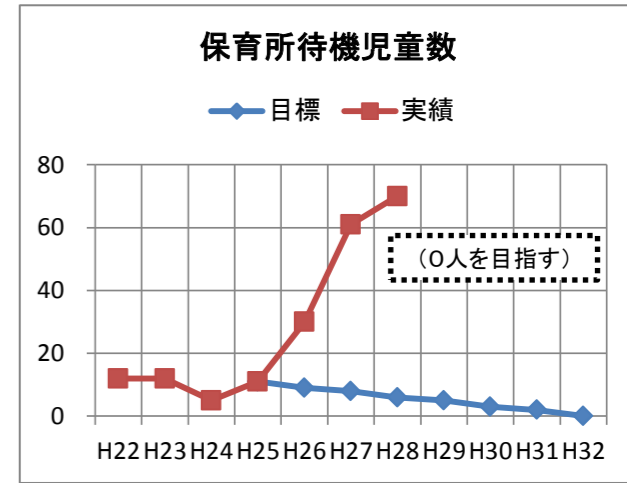


①基本目標	4 安心して子どもを産み育てられる環境づくり
②施策	(1) 安心できる子育て環境の整備(再掲) (2) 社会全体で子育てを支援する仕組みの構築 (3) 子どもの健全育成のための環境づくりの推進 (4) 子育て家庭の経済的支援 (5) 援助を必要とする子どもや家庭への支援 (6) 妊娠・出産・育児の一連において充実した保健・医療体制の確保 (7) 次代の親を育成するための環境づくりの推進

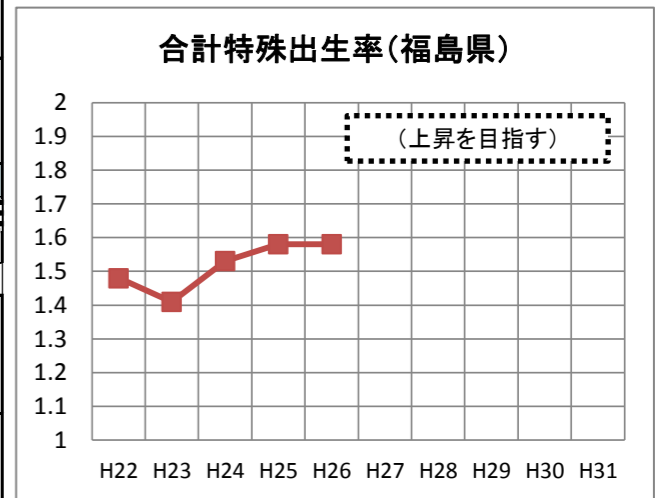
③指標No.、名称	1 子育て応援パスポート協賛店舗数	達成状況	B								
④指標の説明	管内の子育て応援パスポート協賛店舗の数(4月1日時点)－福島県こども・青少年政策課調べ										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標				(増加を目指す)							
実績			356	358	339	327	店				
達成状況			A	B	B						
⑥達成状況の分析又は現状分析	協賛店舗の閉店等により減少傾向にある。										
⑦今後の課題	平成28年度末のパスポート更新時に広報紙、新聞広告等で広報予定。										



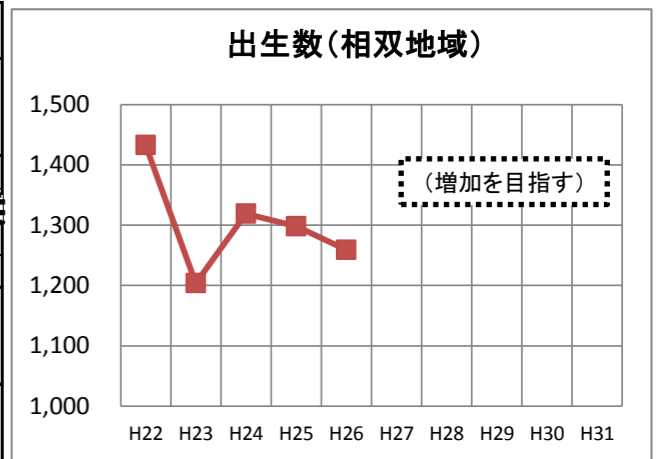
③指標No.、名称	2 保育所入所待機児童数	達成状況	B								
④指標の説明	管内で保育所への入所を待機している児童の数(4月1日時点)－保育所等利用待機児童数調査										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標				11	9	8	6	5	3	2	0人
実績	12	12	5	11	30	61	70	人			
達成状況					B	B	B				
⑥達成状況の分析又は現状分析	相馬市及び南相馬市における待機児童数が増加している。入所要件が緩和され、対象児童が増加している。										
⑦今後の課題	市町村が地域の実情に応じた保育の受け皿を確保できるよう働きかける必要がある。										



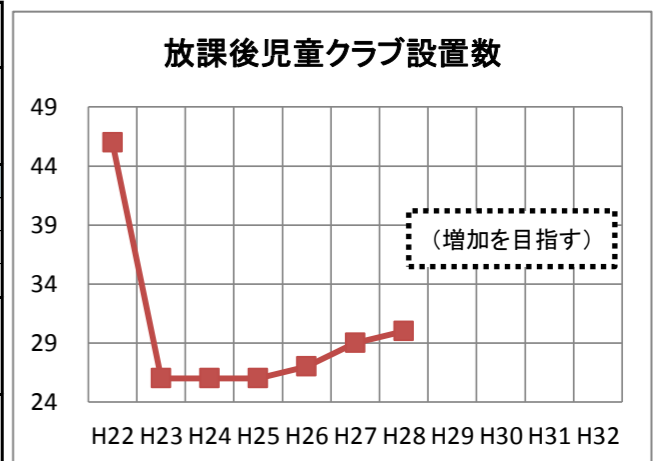
③指標No.、名称	3 合計特殊出生率(福島県)【再掲】										達成状況	モニタリング		
④指標の説明	15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとした時の平均子ども数に相当する。－人口動態統計月報年計の概況(福島県)													
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
	(上昇を目指す)													
目標														
実績	1.51	1.48	1.41	1.53	1.58	1.58								
達成状況														
⑥達成状況の分析又は現状分析	18歳以下を対象にした医療費無料化、子育てや出産に関する電話相談、各自治体ごとの出産祝金など、出産支援、子育て支援の取組が奏功し、増加傾向にある。													
⑦今後の課題	引き続き、子育てに伴う負担と不安を軽減するため、社会全体で子育てを支援する体制づくりを推進する必要がある。													



③指標No.、名称	【参考】 出生数(相双地域)【再掲】										達成状況	参考		
④指標の説明	管内の市町村に届け出られた「生まれた子どもの数」(年合計)－人口動態統計(確定数)の概況(福島県)													
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
	(増加を目指す)													
目標														
実績	1,560	1,433	1,204	1,319	1,298	1,259	人							
達成状況														
⑥達成状況の分析又は現状分析	出産可能な年齢層の女性の人数が減少傾向にあり、これに比例して出生数も減少していくと考えられる。													
⑦今後の課題	引き続き、子育てに伴う負担と不安を軽減するため、社会全体で子育てを支援する体制づくりを推進する必要がある。													

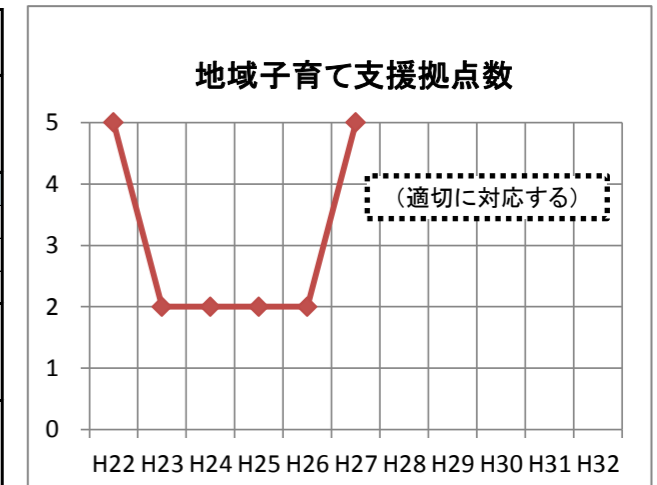


③指標No.、名称	4 放課後児童クラブ設置数										達成状況	A		
④指標の説明	管内の放課後児童クラブの設置数(4月1日時点)－放課後児童健全育成事業の実施状況調査													
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32			
	(増加を目指す)													
目標														
実績	46	26	26	26	27	29	30	か所						
達成状況														
⑥達成状況の分析又は現状分析	利用ニーズの増加に伴い、設置数も増加傾向にある。													
⑦今後の課題														

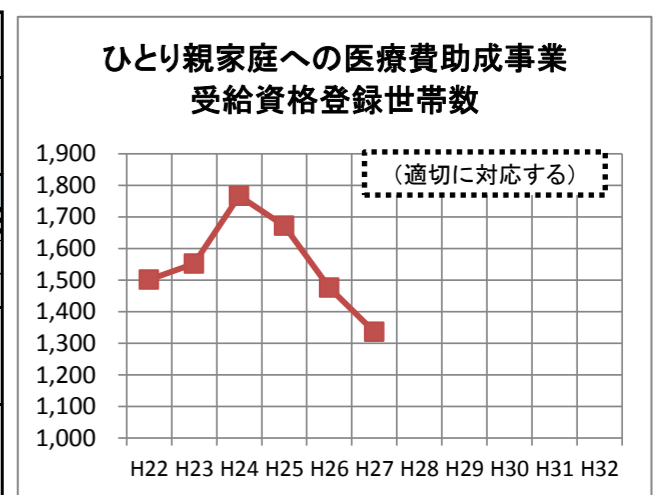




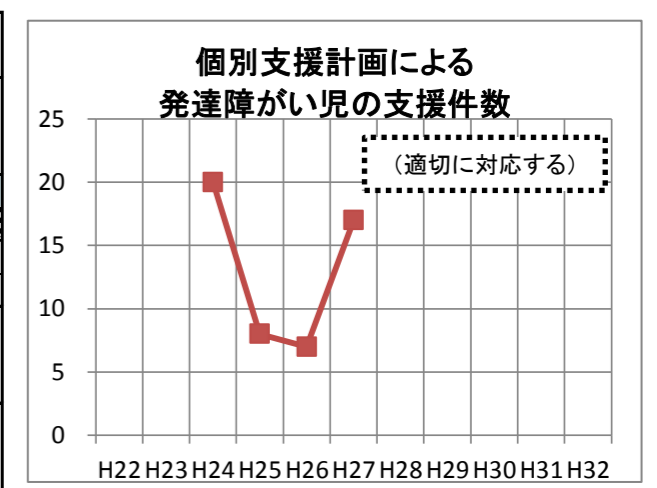
③指標No.、名称	5 地域子育て支援拠点数							達成状況	A			
④指標の説明	管内の地域子育て支援拠点数(3月31日時点)－福島県子育て支援課調べ											
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	5	2	2	2	2	5	(適切に対応する)					
目標												
実績												
達成状況												
⑥達成状況の分析又は現状分析	地域子育て支援拠点施設の新設により増加した。											
⑦今後の課題												



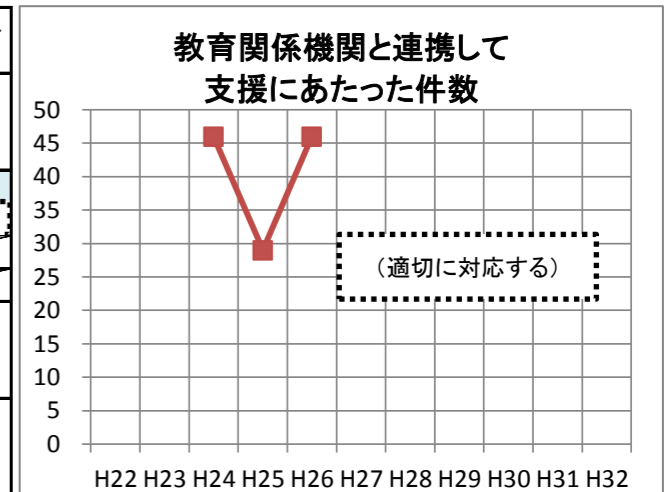
③指標No.、名称	6 ひとり親家庭への医療費助成事業受給資格登録世帯数							達成状況	モニタリング			
④指標の説明	管内市町村の「ひとり親家庭等医療費助成事業」の受給資格登録世帯数(原則6月1日時点)－福島県児童家庭課調べ											
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	1,501	1,552	1,766	1,672	1,476	1,336	(適切に対応する)					
目標												
実績												
達成状況												
⑥達成状況の分析又は現状分析	登録数は減少傾向にある。											
⑦今後の課題	引き続き適切に対応していく。											



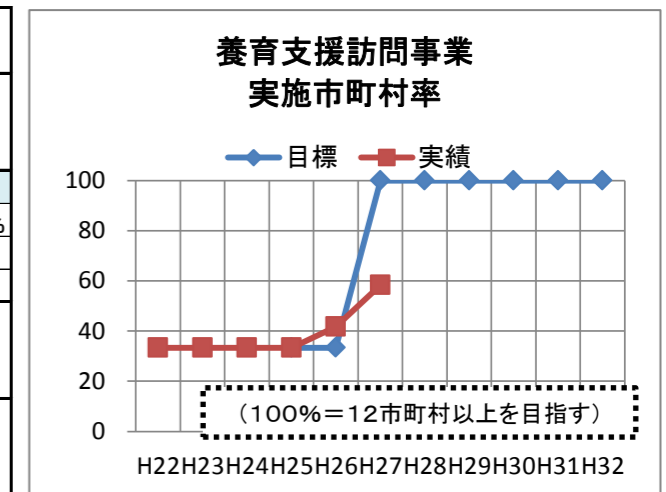
③指標No.、名称	7 個別支援計画による発達障がい児の支援件数							達成状況	モニタリング			
④指標の説明	管内で、福島県福祉事業協会(県から事業受託)が、発達障がい地域支援マネージャー事業により、市町村支援を実施した延件数(年度合計)－発達障がい地域支援マネージャー事業実施状況報告書											
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
			20	8	7	17	(適切に対応する)					
目標												
実績												
達成状況												
⑥達成状況の分析又は現状分析	自立支援協議会専門部会、各種ミーティング及びすこやか教室等において助言、指導を行い、適切に対応している。											
⑦今後の課題	引き続き、適切に対応していく。											



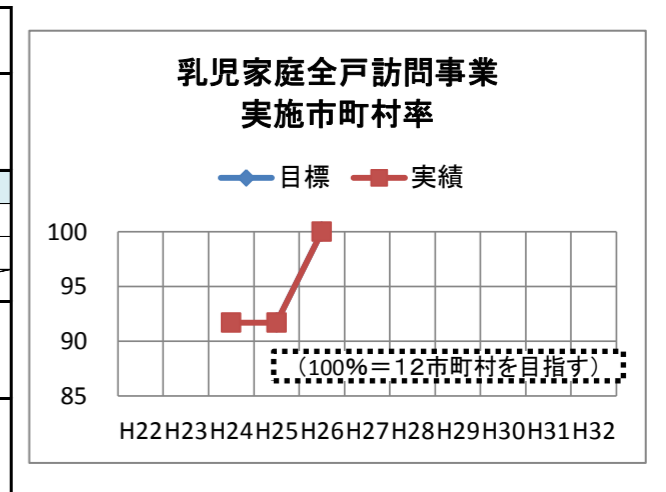
③指標No.、名称	8 教育関係機関と連携して支援にあたった件数										達成状況	モニタリング	
④指標の説明	管内で、福島県福祉事業協会(県から事業受託)が、発達障がい地域支援マネージャー事業により、市町村支援を実施した延件数(年度合計)－発達障がい地域支援マネージャー事業実施状況報告書												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	(適切に対応する)	
	/			46	29	46	/						
⑥達成状況の分析又は現状分析	平成27年度から事業内容(事業名含む)が変更され、事業実施状況報告書から教育関係機関との連携支援件数が削除された。												
⑦今後の課題													



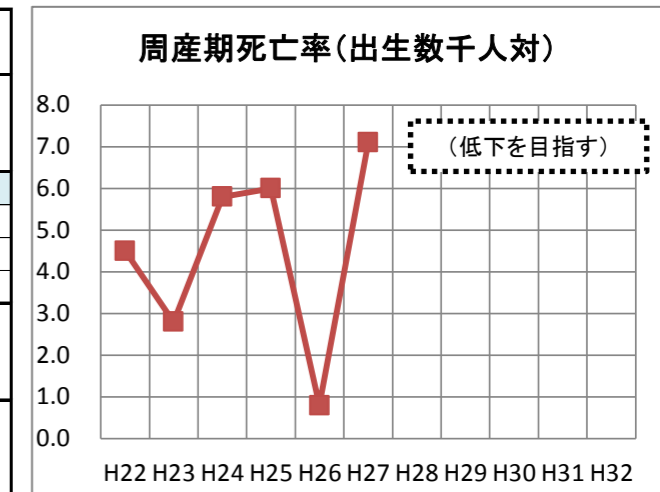
③指標No.、名称	9 養育支援訪問事業実施市町村率										達成状況	B	
④指標の説明	社会福祉法に基づく養育支援訪問事業開始届出があった管内市町村の比率(年度末時点)－事業開始届出												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	(100%=12市町村以上を目指す)	
	/			33.3	33.3	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
⑥達成状況の分析又は現状分析	平成27年実績は、7市町村の事業開始届出があった。												
⑦今後の課題	全市町村で事業開始できるよう未実施市町村に対し働きかける。												



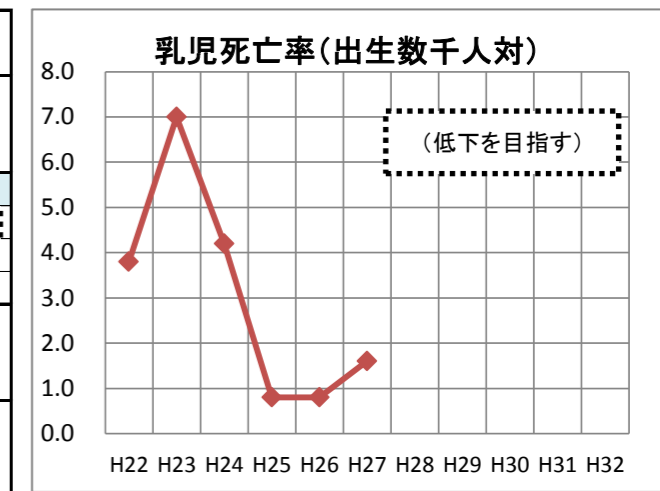
③指標No.、名称	10 乳児家庭全戸訪問事業実施市町村率										達成状況	A	
④指標の説明	児童福祉法による乳児家庭全戸訪問事業開始届があった管内市町村の比率(年度末時点)－事業開始届出												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	(100%=12市町村を目指す)	
	/			91.7	100	%	/						
⑥達成状況の分析又は現状分析	平成26年時点で全市町村から事業開始届の提出があり目標達成した。												
⑦今後の課題													



③指標No.、名称	11 周産期死亡率(出生数千人対)										達成状況	B	
④指標の説明	年間出生数千人に対する、妊娠満22週以降の死産及び生後7日未満までの早期新生児死亡の数の管内比率(年間)－人口動態統計												
⑤指標の推移 目標 実績 達成状況	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	(低下を目指す)	
	4.5	2.8	5.8	6.0	0.8	7.1							
⑥達成状況の分析又は現状分析	出生1,259人に対し、周産期死亡9人。各年間の変動が大きい状況にあるため、今後も経過を注視していく必要がある。												
⑦今後の課題	周産期医療機関の取組を支援するとともに、ネットワークを強化し、周産期の医療安全を守っていく必要がある。												

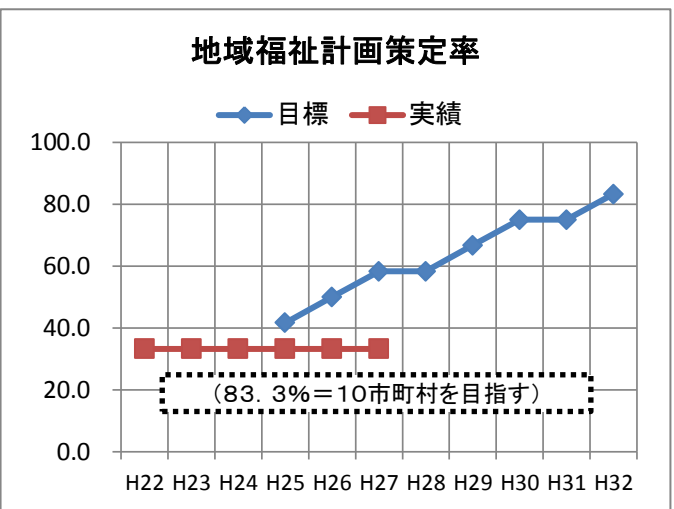


③指標No.、名称	12 乳児死亡率(出生数千人対)										達成状況	B	
④指標の説明	年間出生数千人に対する、生後1年未満の死亡の数の管内比率(年間)－人口動態統計												
⑤指標の推移 目標 実績 達成状況	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	(低下を目指す)	
	3.8	7.0	4.2	0.8	0.8	1.6							
⑥達成状況の分析又は現状分析	出生1,259人に対し、乳児死亡2人。平成27年は前年より上昇したが、長期的には減少傾向にある。												
⑦今後の課題	今後の推移を注視していく。												

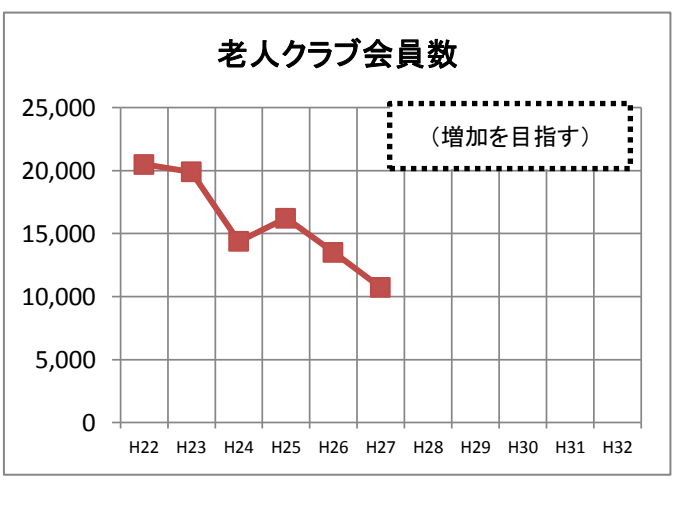


①基本目標	5 ともにいきいき暮らせる福祉社会の推進
②施策	(1) 人格、人権、個性を尊重する社会づくりの推進 (2) 誰もが人と人とのつながりを感じることができる社会づくり推進 (3) 生活に希望を持ち、自らの能力を発揮できる社会づくりの推進 (4) 福祉サービス提供体制の整備(再掲) (5) 介護・福祉サービスの充実 (6) 地域生活移行や就労支援など障がい者の自立支援 (7) DV(ドメスティック・バイオレンス)、虐待防止及び被害者の保護・支援 (8) 生活支援の充実

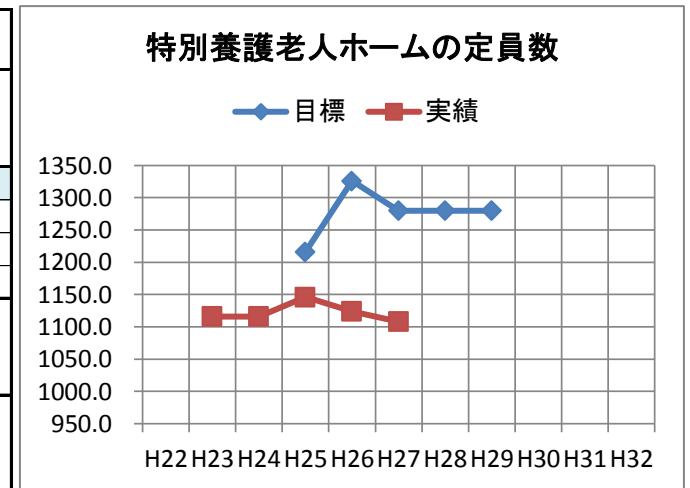
③指標No.、名称	1、2 地域福祉計画策定率	達成状況	B								
④指標の説明	管内市町村のうち、地域福祉計画を策定している市町村の比率(年度末時点)－福島県社会福祉課調べ										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
	/			41.7	50.0	58.3	58.3	66.7	75.0	75.0	83.3%(10市町村)
	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	% (4市町村)				
達成状況	/			B	B	B					
⑥達成状況の分析又は現状分析	震災対応等上位の優先業務があることや計画策定に係る人材や財源の確保が困難であることが主たる要因と考えられる。(策定済み 南相馬市、楡葉町、川内村、葛尾村)										
⑦今後の課題	未策定市町村への策定支援の手法等を検討する必要がある。										



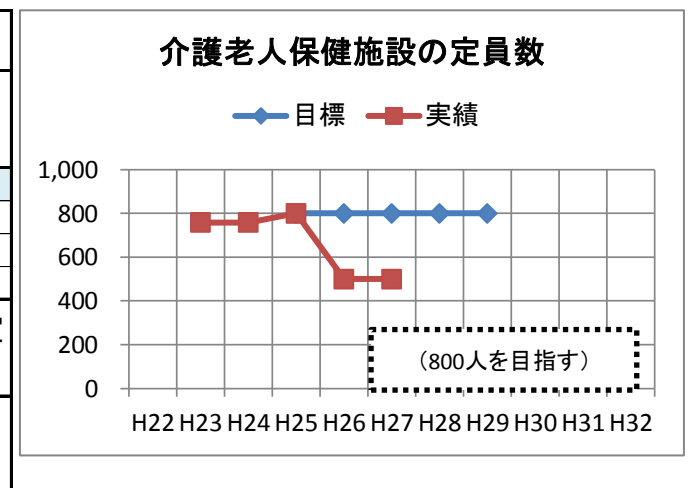
③指標No.、名称	3 老人クラブ会員数	達成状況	B									
④指標の説明	管内に所在地がある老人クラブの会員数(4月1日時点)－福島県高齢福祉課調べ											
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
	/			(増加を目指す)								
	20,500	19,892	14,374	16,217	13,510	10,720	人					
達成状況	/			B	B	B						
⑥達成状況の分析又は現状分析	原発事故による避難者が多く、避難先での老人クラブ活動に制約が生じるため。 ※H23の会員数について、震災で把握できなかった相馬市と新地町以外の10市町村はH22と同数とした。											
⑦今後の課題	健康づくり、生きがいづくり等老人クラブの果たす役割を啓発し、会員の増加を促す必要がある。											



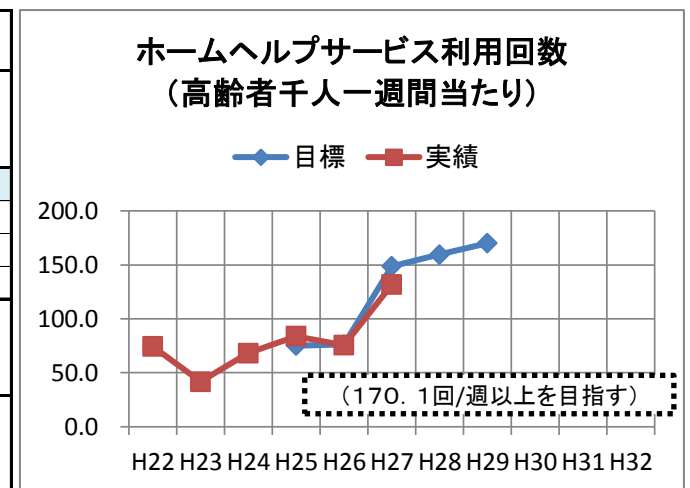
③指標No.、名称	4 特別養護老人ホームの定員数										達成状況	B	
④指標の説明	第七次高齢者福祉計画、第六次福島県介護保険事業支援計画における特別養護老人ホーム(介護老人福祉施設及び地域密着型介護老人福祉施設)の整備計画数(累計)												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	/			1,216	1,326	1,280	1,280	1,280	人				
	/			1,146	1,124	1,108			人				
⑥達成状況の分析又は現状分析	原発事故による避難に伴い、介護職員の人材不足が顕著であり、増床等の施設整備が困難な状況となっている。												
⑦今後の課題	事業者側が円滑に施設整備への取組ができるよう、介護職員の人材確保・定着を図る必要がある。												



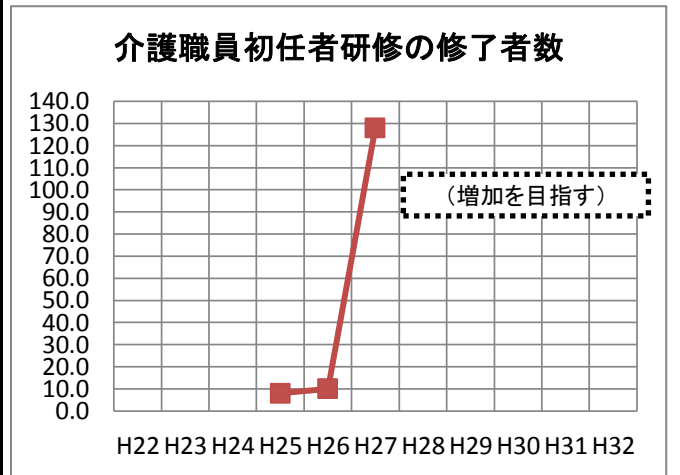
③指標No.、名称	5 介護老人保健施設の定員数										達成状況	B	
④指標の説明	第七次高齢者福祉計画、第六次福島県介護保険事業支援計画における介護老人保健施設の整備計画数(累計)												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	/			800	800	800	800	800	人				
	/			800	500	500			人				
⑥達成状況の分析又は現状分析	原発事故による避難に伴い、介護職員の人材不足が顕著であり、増床等の施設整備が困難な状況となっている。(H25からH26の定員数の減は、管内の休止施設で許可有効期限が満了したためである。)												
⑦今後の課題	事業者側が円滑に施設整備への取組ができるよう、介護職員の人材確保・定着を図る必要がある。												



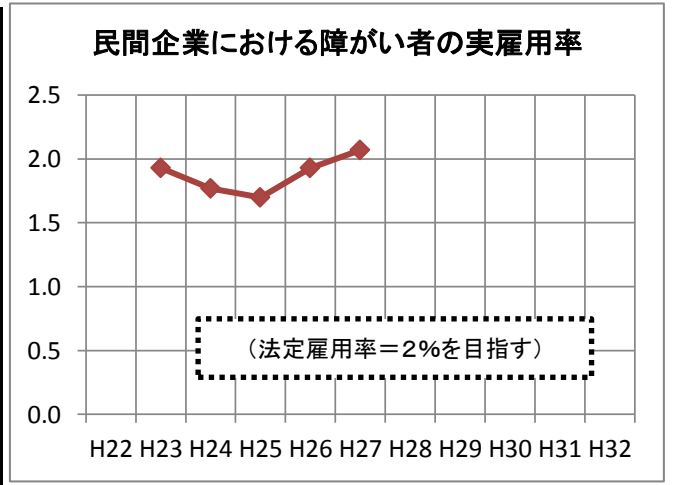
③指標No.、名称	6 ホームヘルプサービス利用回数(高齢者千人一週間当たり)										達成状況	B	
④指標の説明	管内の訪問介護サービスの高齢者千人当たりの週間利用回数(各年度)－第七次高齢者福祉計画・第六次福島県介護保険事業支援計画												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	74.4	41.7	68.2	75.1	76.2	148.8	159.6	170.1	回/週以上				
	/			83.9	75.5	131.8	回/週						
⑥達成状況の分析又は現状分析	23年度は震災の影響により実績が減少したが、24年度以降は増加傾向にある。												
⑦今後の課題	必要とする訪問介護サービスが提供できるようサービス基盤の整備や介護人材の確保を図る必要がある。												



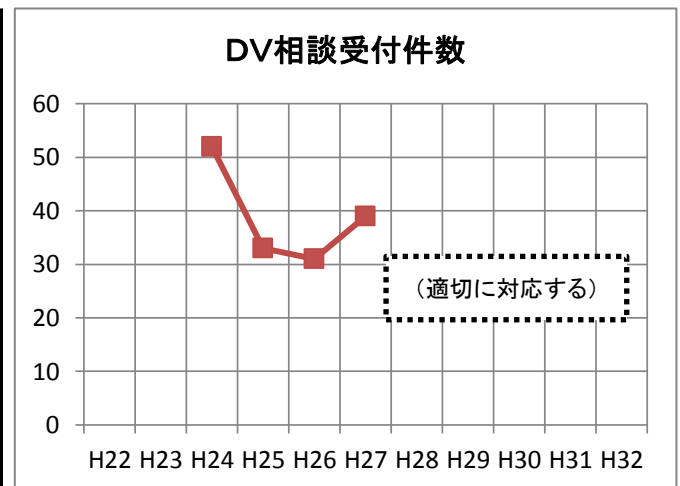
③指標No.、名称	7 介護職員初任者研修の修了者数【再掲】							達成状況	モニタリング			
④指標の説明	管内の介護・福祉事業所から県に提出された介護職員初任者研修事業による研修修了者の数(年度合計)－福島県高齢福祉課調べ											
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
				(増加を目指す)								
目標				8	10	128	人					
実績												
達成状況												
⑥達成状況の分析又は現状分析	平成24年度まではホームヘルパー2級養成研修終了者数であったが、平成25年度から制度改正となり、「介護職員初任者研修」として実施している。制度変更により、受講者数が増加した。											
⑦今後の課題	適切に研修を行い、管内への定着化を図る。											



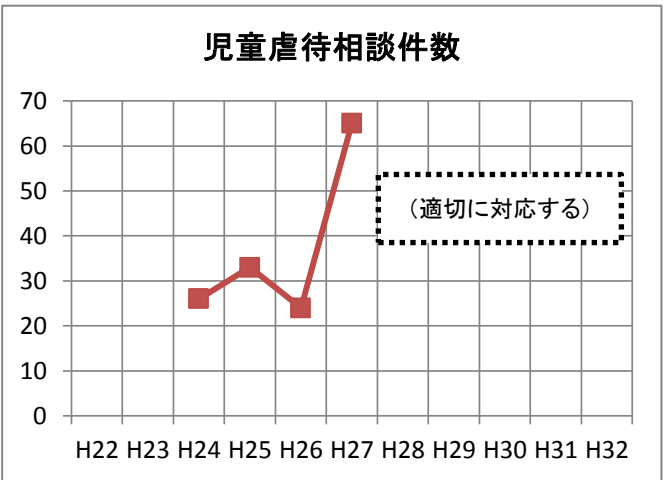
③指標No.、名称	8 民間企業における障がい者の実雇用率							達成状況	A		
④指標の説明	管内の対象企業(従業員50人以上)での障がい者の雇用率(6月1日時点)－ハローワーク相双調べ										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
				(法定雇用率を目指す。平成25年4月から2%)							
目標				1.70	1.93	2.07	%				
実績	1.93	1.77									
達成状況				B	B	A					
⑥達成状況の分析又は現状分析	細かな企業訪問等を通じて、企業側に一定の理解が進んだ。また、積極的に障がい者の採用を進めている企業があり、その存在も大きい。										
⑦今後の課題	法定雇用率未達成の企業に対する働きかけを継続するとともに、更なる雇用率向上に向け、法定雇用率達成企業にも働きかけを行っていく。										



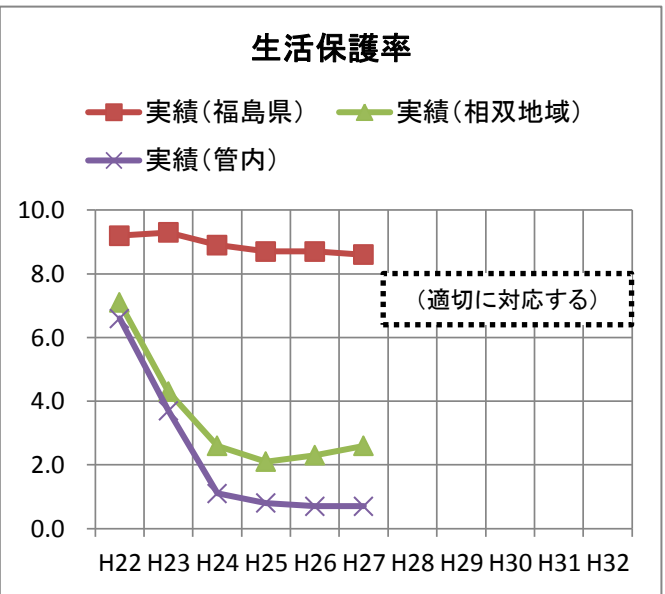
③指標No.、名称	9 DV相談受付件数							達成状況	モニタリング			
④指標の説明	当所(配偶者暴力相談支援センター)で、受け付けたDV相談件数(年度合計)－福島県児童家庭課調べ											
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	
				(適切に対応する)								
目標				33	31	39	件					
実績	52											
達成状況												
⑥達成状況の分析又は現状分析	著しい変化はみられないが、前年度に比べて相談受付件数が増加した。											
⑦今後の課題	広報啓発により相談窓口等の周知を図るほか、被害者の支援について関係機関と連携し適切な対応を行う。											



③指標No.、名称	10 児童虐待相談件数										達成状況	モニタリング
④指標の説明	浜児童相談所南相馬相談室で受け付けた児童虐待相談件数(年度合計)－福祉行政報告例											
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	(適切に対応する)
	目標			(適切に対応する)								
実績				26	33	24	65	件				
達成状況												
⑥達成状況の分析又は現状分析	子ども虐待対応の手引き(厚生労働省)の改正に伴い心理的虐待の対象ケースが拡大されたこと及び警察からの通告件数が増加したことにより、件数が増加している。											
⑦今後の課題	虐待の未然防止に向けて関係機関とより一層緊密に連携し、適切に対応する必要がある。											

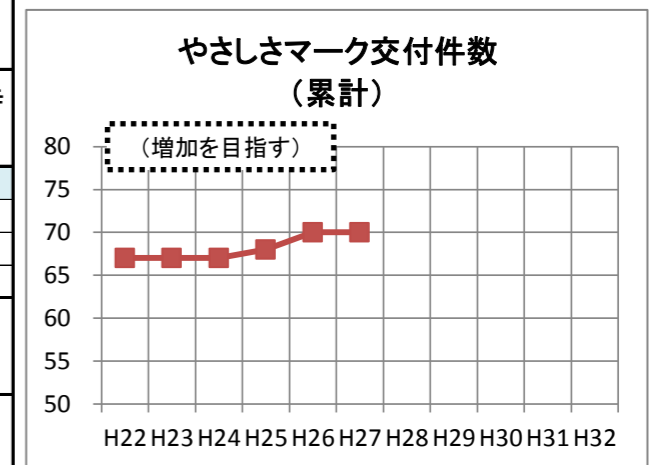


③指標No.、名称	11 生活保護率										達成状況	モニタリング
④指標の説明	人口千人あたりの被保護人員の比率(年度の1か月平均)－福島県「生活保護速報」(福島県社会福祉課) ※年度の1か月平均: 毎月発表される福島県「生活保護速報」の保護率の平均値。 ※当所管内＝双葉郡、相馬郡											
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32	(適切に対応する)
	目標			(適切に対応する)								
実績(福島県)	9.2	9.3	8.9	8.7	8.7	8.6	%					
実績(相双地域)	7.1	4.3	2.6	2.1	2.3	2.6	%					
実績(管内)	6.6	3.7	1.1	0.8	0.7	0.7	%					
達成状況												
⑥達成状況の分析又は現状分析	相双管内では、震災により管外へ避難している住民の帰還が徐々に進んでいるが、保護率は横ばい傾向にある。被保護者の内訳では、高齢化の進展により高齢世帯の数が増加傾向にある。											
⑦今後の課題	今後、住民の帰還が進むことや賠償金の費消などにより保護率が増加する可能性があるため、そのような動きを注視しながら、生活困窮者自立支援事業などの活用により適切に対応していく必要がある。											

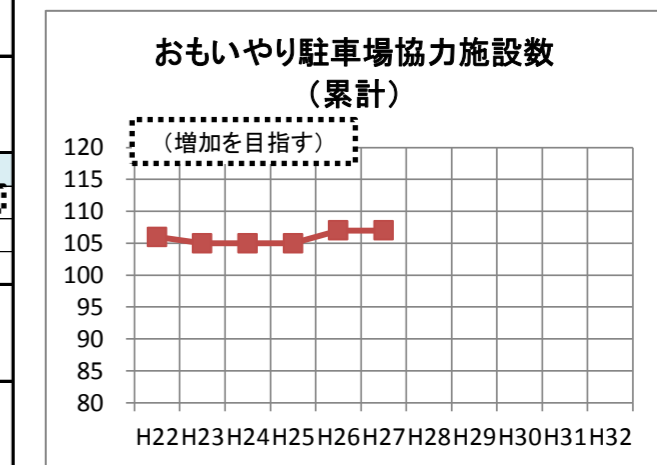


①基本目標	6 誰もが安全で安心できる生活の確保
②施策	(1) 飲料水及び食品等の安全性の確保(再掲) (2) ユニバーサルデザインに配慮した人にやさしいまちづくりの推進 (3) 生活衛生水準の維持向上 (4) 安全な水の安定的な供給 (5) 生産から消費に至る食の安全・安心の確保 (6) 人と動物の調和ある共生 (7) 健康危機管理体制の強化 (8) 災害時の保健医療福祉体制の強化

③指標No.、名称	1 やさしさマーク交付数(累計)	達成状況	B								
④指標の説明	人にやさしいまちづくり条例の整備基準に適合する管内の施設に対し、県が交付した適合証(やさしさマーク)の累計(年度末時点)－福島県高齢福祉課調べ										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標	(増加を目指す)										
実績	67	67	67	68	70	70	件				
達成状況				A	A	B					
⑥達成状況の分析又は現状分析	交付件数が伸び悩んでいる。										
⑦今後の課題	様々な機会を捉えて、「やさしさマーク」のPRを行うとともに、市町村、商工団体等に対して、更なる普及・啓発を行う。										

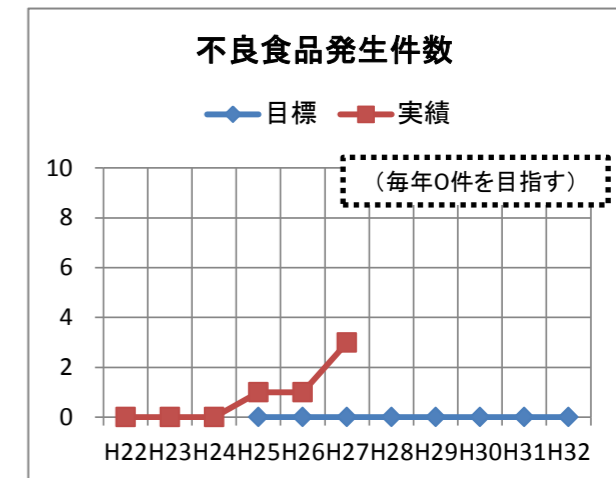


③指標No.、名称	2 おもいやり駐車場協力施設数(累計)	達成状況	B								
④指標の説明	おもいやり駐車場利用制度について、県に協力申出書を提出した公益的施設の累計(年度末時点)－福島県高齢福祉課調べ										
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32
目標	(増加を目指す)										
実績	106	105	105	105	107	107	件				
達成状況				B	A	B					
⑥達成状況の分析又は現状分析	公共施設においては、制度への理解や協力は得られているものの、民間施設へのPRが不足している。										
⑦今後の課題	制度への理解や協力が得られるよう、更なる普及・啓発を行う。										

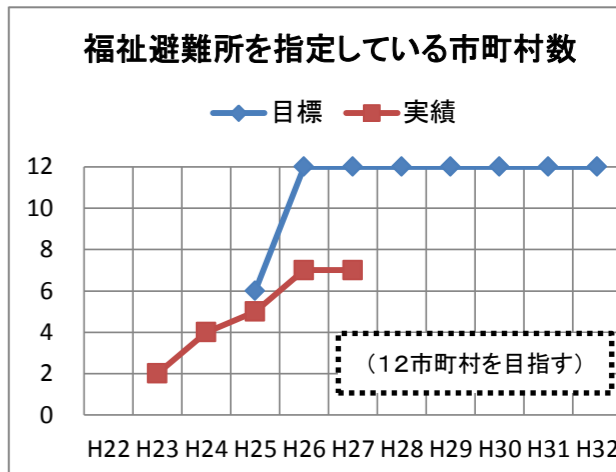




③指標No.、名称	3 不良食品発生件数										達成状況	B	
④指標の説明	管内で生産・販売等された食品で、食品衛生法に基づく規格基準等に違反する食品の発生件数(年度合計)－相双保健福祉事務所調べ												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	/			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0 件
実績	/			1	1	3							
達成状況	/			B	B	B							
⑥達成状況の分析又は現状分析	平成27年度、食品衛生法上の不良食品の発生件数は3件であった(食品製造施設1件、食品流通・販売施設1件、学校給食施設1件)。26年度と比較して、食品流通・販売施設及び学校給食施設が増加した。												
⑦今後の課題	平成27年度の不良食品の内訳をみると、異物混入が2件、残留農薬基準超過が1件であった。食品製造施設及び学校給食施設の監視や施設従事者を対象とした衛生講習会において、HACCP方式による衛生管理方法を取り入れ、的確な衛生管理体制をとり異物混入防止対策を行うよう指導する。残留農薬については、関係部局との情報交換を行うなど連絡を密にすることや、引き続き収去検査を実施するなど、違反品の流通防止に努める。												



③指標No.、名称	4 福祉避難所を指定している市町村数【再掲】										達成状況	B	
④指標の説明	管内市町村のうち、福祉避難所を指定している市町村数(年度末時点)－福島県保健福祉総務課調べ												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	/			6	12	12	12	12	12	12	12	12	市町村
実績	/			5	7	7							
達成状況	/			B	B	B							
⑥達成状況の分析又は現状分析	避難中の5町村が未指定の状況にあったが、平成28年6月、葛尾村が指定したため、現在、4町が未指定。												
⑦今後の課題	未指定市町村の意向に応じて、引き続き、情報提供等指定に向けた支援を行っていく。												



③指標No.、名称	【参考】 福祉避難所指定数【再掲】										達成状況	参考	
④指標の説明	管内市町村が指定した福祉避難所の数(年度末時点)－福島県保健福祉総務課調べ												
⑤指標の推移	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	H31	H32		
	/			..... (増加をめざす) .....									
実績	/			6	46	46	か所						
達成状況	/												
⑥達成状況の分析又は現状分析	27年度末現在、46施設であったが、その後、葛尾村の1施設及び相馬市の1施設が指定され、平成28年9月末現在では、48施設となっている。												
⑦今後の課題	未指定市町村の意向に応じて、引き続き、情報提供等指定に向けた支援を行っていく。												

